

KSGA KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION

創刊号



■目次

- P1 KSGA創刊にあたって
P2 学生ゴルフの発展を
P5 学連今昔
P6・7 学生ゴルフの課題
P8 会報発行によせて
P9 プレーヤーよりゴルファーへ
P10・11 関東学生ゴルフ連盟役員紹介
P12 関東学生ゴルフ連盟関連スケジュール

- P13~21 新規加盟校紹介
P22~23 ゴルフ練習場紹介
P24~25 ゴルフショップ紹介
P26~28 KSGA意識調査
P29 小田美岐プロ直撃インタビュー
P30~32 競技会記録
P33~35 競技会記録 日刊予選
P36~40 競技会記録 女子ブロック対抗戦
P41~44 総評・編集後記

4月号

MY STATUS SYMBOL

マイステイタス・シンボル

リンクスのフェアウェイ・マホガニーのデスク。

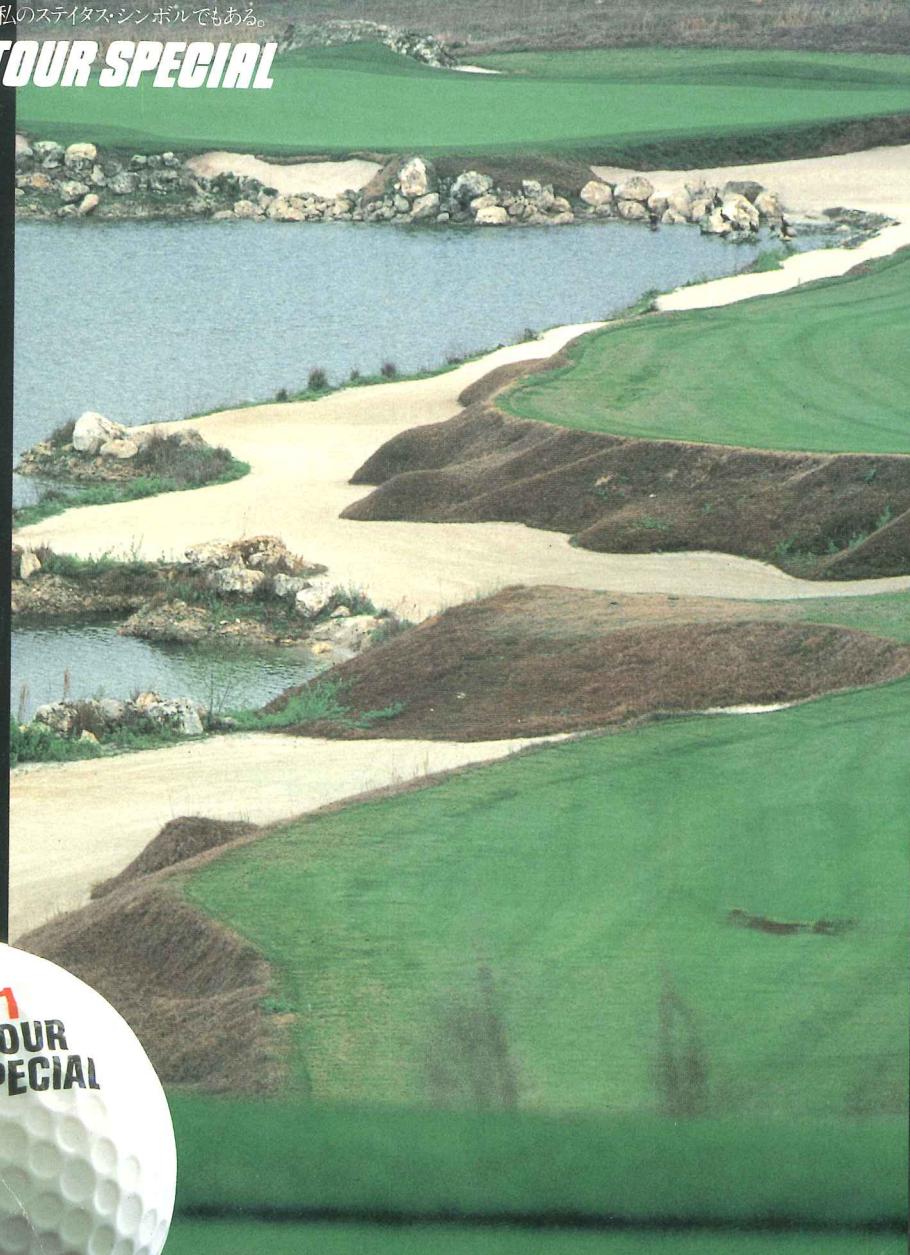
自然のつくりだす造形美の中で、科学の結晶ともいえるこのボールがなぜかよく似合う。

自然の豊かさ、厳しさを知り、ゴルフの奥深さを感じはじめたとき、選ぶボールも違ってきた。

ツアースペシャル。機能性だけでなく、すべての面で満足できるパートナー。

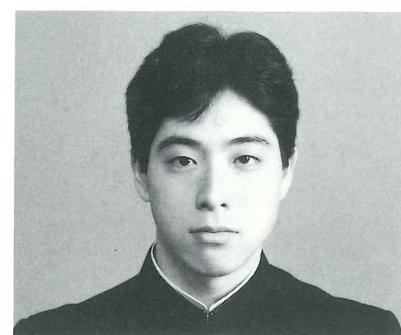
それはまさに私のステイタス・シンボルである。

DDH TOUR SPECIAL



◆ DUNLOP

「KSGA創刊にあたって」



関東学生ゴルフ連盟委員長
早川 賢

このたび関東学生ゴルフ連盟の機関紙「K S G A」が創刊されましたことは、我々役員一同にとりましても大変慶ばしいことです。

かねてより、学連内の新聞や会報といった機関紙の発刊が一部の学生や関係者の間から切望されておりましたが、大変な労力が必要とされるため、毎年見過ごされてきました。

しかしながら、どんどん巨大化する組織のコミュニケーションをはかるためには、このような手段が不可欠であり、また学生ゴルフ界の現状を、加盟している連盟員一人一人に知っていただくという意味でも、「K S G A」創刊は大変重要な役割を果たすことになると思います。

今後「K S G A」では、各競技会の記録や優勝者のコメント、ゴルフ場支配人をはじめとした関係者の方々のお言葉を次々に掲載していく予定です。

現在世界では、様々な改革が行われております。激動の時代とも言えるでしょう。そのような動きの中で、学生ゴルフ界といふものも、もう一度見つめ直す時期がきているのではないでしょうか。

現在行われている試合のあり方、また改善すべき点などを、各方面からの様々な意見を取り上げ、検討することによって、そのるべき姿を考え直す機会を作るための、意義ある会報にしていきたいと思

います。

また、下級生から上級生まで学年を問わず、全ての人々に読んでもらうことにより、マナー・エチケットといったゴルフの基本をもう一度勉強し直すことができるような紙面作りも行いたいと考えております。

さらには、連盟員間の交流をはかるための情報紙として、出来るだけ多くの声をとりあげ、学生による、学生のためのバイタリティーあふれる会報にしてゆくつもりです。

のために様々なゴルフショップや練習場、また皆さんのお役に立てるような情報を紹介させていただきたいと考えております。

これから的学生ゴルフ界の興隆は、現在ゴルフをしている連盟員の皆さん一人一人にかかるいます。この会報を通じ、正しいマナー・エチケットを身につけた立派な学生ゴルファーが一人でも多く育成され、4年間のゴルフ部生活を終えた時に、立派な社会人として巣立っていくことを期待いたします。

わずか一年ではありますが、我々役員一同、学生ゴルフ発展のために力を尽くして参りますので、皆さんの御理解、御協力をお願ひいたします。

「学生ゴルフの発展を」



関東学生ゴルフ連盟会長
松本 富夫

1990年のシーズンも始まり、いよいよ皆様の活躍が見られるのがたのしみです。戦後の学生ゴルフもまもなく40周年を迎えると云う長い歴史の中を歩んで来ました。この間に日本も大きく変わりましたが、学生ゴルフも大きく変容しました。私が在学中の頃は連盟加盟校が10校位であったのが今や70校近くになり、何をするにも世帯が大きくなり連盟の役員諸君に対しての運営の負担が心配です。

学生ゴルフ連盟の主たる運営方針として次の事に重点を置いて行きます。

①学生であり又アマチュアでなければならない。学生ゴルフの基本的精神である先ず学生であること。何を置いても学業を優先しそのなかから生まれてくる時間を最大限に活用しゴルフの精神、技術、マナーを修得するべきである。最近ややもすると学業そっちのけでゴルフに専念している学生が目立ちますがやはり学を身につけてこそ立派なプレーヤーになれるのである。又同時に純粋のアマチュアでなければならない。社会人になってからは各人がプロを目指しても、アマチュアでいても自由であるが、大学のゴルフ部にいる間はアマチュアでなければならない。

②これから的学生ゴルフ界は海外との交流が多くなって行きます。日本国内での試合も国際化してきましたが、我国でのゴルフ事情が特殊であるために費用がかかり過ぎると、利用できるコースの問題等もあり順調に国際化に進めるとは思えません。

しかし最近になり難かしい点はまだあります、スポンサーのついた競技ができるようになりつつあり

関係方面と話をしながら今後はできるだけ学生に費用の負担のかからない国際試合が開催できるように努力していきたいと思います。

③連盟の運営についてですが、加盟校が70校に近くなった現在、皆様のお世話をされる事が、現在の学連の役員の数では大変無理になってきました。事業内容としても競技の国際化、資金の膨脹、競技用コースの借用難等最近益々活動範囲が広くなっています。それと学生の場合には委員長を始め役員が毎年変わってしまうので継続的な運営に難しいものがあります。これを補助し継続させるために学生ゴルフ出身者及び監督を含めたOBだけの理事会を作り各校の意見を吸収しながら学生ゴルフ連盟のお手伝いをしています。

最近増えつつある問題として高校生の試合でスコア一をごまかす選手が多くなっています。これと云うのも高校で良いスコアを出し大学で引っ張ってほしいと云うのが実状です。原因として考えられるのは大学のゴルフ部がプロの養成期間になりつつあるのだと思います。今までの連盟に欠けている活動としてPR活動があります。これには色々な原因はありますが、マスコミ側からすれば営業価値のない試合であったためだと思います。しかし今後は競技方法、開催場所等も検討し学生ゴルフの実態をお見せできるように改善をしたいと思います。

最後に日本ゴルフ協会、関東ゴルフ連盟、ゴルフ関連企業、及び各大学に於かれましては今後共絶大なる御支援をお願い申し上げます。

MIZUNO
THE WORLD OF SPORTS



中島常幸(ミズノ)



ミズノは、頂点で磨かれる。
Mizuno Pro

MS-1, MS-3, MS-5, MS-10, MS-11, MS-701, MS-702, MS-801, WD,
MG, M-100, M-200, M-300. クラフトモデル 891, 892, 893

ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は「ミズノお客様商品相談センター・MUSIC」
● 東京/TEL.(03)233-7110 ● 大阪/TEL.(06)454-5001
くお願いします。ミズノゴルフクラブをお買い上げの際には、必ず保証書をお受け取りください。

闘いは、いつも、流れている。ゆつたりとした水面が、
ときにはとぼける大河へと一変するよう、
何度か訪れる、身震いするような瞬間がある。
今だ、と自分のなかで声がする。
そのとき、信じるに足る技があり、その技を
託すことのできる武器がある。
闘いつづけることで練られ磨かれてきたクラブ、ミズノプロ。

中島常幸の攻撃力。

「学連今昔」



関東学生ゴルフ連盟理事長 竹田 照夫

平成2年度の関東学生ゴルフ連盟の総会も終了し、学連の新役員及び加盟校の新幹部が決定し、競技シーズン開幕となりました。又各加盟校では新入生を迎えて「スポーツ」としてのゴルフに邁進している事と存じます。本年度の学連委員より、学連として「パブリシティー」を発行したいとの提案があり、即私は賛同の意を表しました。学生連盟創立の約40年前とは加盟校、加盟員共、約10倍の規模となり、他のスポーツとは異なり学生の運営による点で、素晴らしいものがある中で、これだけ多くの加盟校・加盟員へのコミュニケーションの機会として是非必要ではないかと感じておりました。振返れば昭和47年に「スクラッチ」の名称で学連パブリシティーが企画・発刊されました但一年で終わり、返す返すも残念でありました。学連委員の負担は増加するかもしれません、今回は是非継続して貰いたいと希望します。ここで「学連今昔」と題して古えを懐かしながら、現在、将来の学連について少々述べたいと存じます。監督に就任して約30年になるが、その間様々な出来事、そして人との出会い、コースとの出会い等を経験してきたが、特に学生ゴルフの表と裏を見て来た訳で、楽しかった事、苦しかった事、悔しかった事、嬉しかった事が今でも走馬燈の如く脳裡を去来す。初めて母校の名誉をかけて奮斗する学生を見た「南軽井沢ゴルフ場=現軽井沢72ゴルフ」そして軽井沢ゴルフ俱楽部(新軽)、日光カンツリー俱楽部、宝塚ゴルフ俱楽部、那須ゴルフ俱楽部、箱根カントリー俱楽部、大箱根カントリークラブ、

西宮高原ゴルフ俱楽部、四日市カンツリー俱楽部、淡路カンツリー俱楽部、表蔵王国際ゴルフクラブ、西仙台カントリークラブ、東筑波カントリー、烏山城カントリークラブ、那須野ヶ原カントリークラブ、東ノ宮カントリー俱楽部、棚倉田舎俱楽部、一般地にまみれた武蔵野ゴルフクラブ、旭国際東京カンツリー俱楽部等、まだまだ学生ゴルフにとって忘れられないコースは多数あるが、特に印象に残っているコースを記してみた。先々とのコースは学連の歩みと共に歴史を作ってきた訳である。競技の内容・結果もさることながら、コースの協力体制・学連委員の活躍が印象に残っている。最近はゴルフ人口の増加と共にゴルフコースも非常に増えてきたが、学生ゴルファーにとっては逆に狭き門になって来た。要するに学生ゴルファーに理解のないゴルフコースが多くなり残念である。その中で競技数は増加し、逆に学連委員が少なくなっているのが現状である。昔は各大学の主将・副主将が学連委員になり、又委員長になって活躍していたものだ。現状では競技コースを確保するのが精一杯で少人数故に手が廻らない。対応が遅れる。そして授業に出席できない選手。O.B.コース側から文句を云われる。この繰返しが現状であると思う。我々関係者(連盟加盟校)は傍観ばかりしていては、学連の危機と考えるので各大学の部長・監督・コーチ・O.B等が一体となって手を差しのべなければならない。それには先づ1校から最低1名は学連委員として学連事務所に派遣して貰い度い。O.B諸兄が昔の事ばかり懐かし

PARIS®

TOKYO

3-5-30, Kitaaoyama, Minato-ku, Tokyo. 〒107 Phone. 03-401-3133

OSAKA

3-1-14, Senbahigashi, Minoo-shi, Osaka-fu. 〒562 Phone. 0727-29-3125

がり思い出を偲んでいるうちに。時は流れ21世紀を迎えるとしている訳で懐かしんでいる暇があるならば、学生の競技会場に出向いて競技、コース等を見て貰い度。朝早くから母校の名誉をかけて戦っている姿は実に素晴らしいものである。又学連委員の諸君は「緑の下の力持」的存在であり一生懸命競技の運営・指導に努力している姿を見たならば、たまに会議だけに出て来て発言する諸兄は恥しくなると思うが如何?

さて様々と言いたい事は沢山あるが、ではどうしたら学連がスムーズに運営し活力が出てくるのだろうか?ここにまとめて提言してみたい。

1. 各大学より最低一名以上の学連委員を選出する。
2. 各大学の関係者・OBはもとより学連理事・顧問等社会人関係者はリーグ戦或は学生の競技を積極的に観戦すべきである。

3. 学連と日本ゴルフ協会・関東ゴルフ連盟との関係を密にして、指導協力・物心両面の援助を仰ぐこと、その為に委員を若干名おく必要がある。

4. 大学の部長・監督・コーチと学連の関係を密にする為に年二回の合同会議等を開催する事。

5. 広報活動を積極的に行う事、エチケット、マナーの高揚、ルールの勉強はもとより競技報告等。

以上思いつくままに記したが、如何なものであろうか? 要はOB・現役の協力と実行あるのみと思う。

最後にこの3月に開催された本連盟総会に各大学部長・コーチ・学連理事・顧問等へ出席依頼を送付したと聞いておるが、出席が3名とは誠に残念である。諸般の都合もあるかとは推察するが学連の維持・発展の為に是非出席を賜り度いと感ずる次第である。

私が単に学生ゴルフ界のみに止まず、アマチュアゴルフ界、プロゴルフ界にもその活躍の場を広げていった過程でもあった。過去の数多くのアマ・チャンピオンに学生が名を連ね、またプロゴルフ界においても、多くの学生ゴルフ出身者が活躍している事実は、優れたゴルファーを学生ゴルフ界が輩出している事を裏付け、またプロゴルフ協会の浅見会長はじめ日本のゴルフ界を治めるJGAや各ゴルフ団体の役員、委員に、学生ゴルフ出身者が数多く活躍している事実は、学生ゴルフ出身者が、広くゴルフ界の中でリーダーシップを取っている事を裏付けるものである。

私が申し上げたい事は、学生ゴルフの存在と活動の意義は、単に学生ゴルフ界の範囲に止まらず、ゴルフ界全体にまでその影響力を持っている事であり、また同時に、君達のこれから役割がゴルフ界の将来を決めるといつても過言でないという事である。この事を学生諸君は十分に理解し、それを認識して活動すべきである。

そこで、学生ゴルフ界が今後果すべき課題を3つあげたいと思う。

1. ゴルフを真のスポーツとしてとらえ、文武両道を活動の基本精神とする。

スポーツマンシップ及びモラルの欠如は、最近、学生ゴルフの深刻な問題となっている。結果のみを重視する傾向が、紳士のスポーツとされるゴルフ本来の精神を失わされていることは真に残念なことである。ゴルフは他に例を見ない、プレイヤー自身が審判であり「自己に厳しく」が基本の精神である事を心にしっかりと留めるべきである。また諸君は学生であるという原点を認識し、学業とスポーツを両立させてこそ、はじめて、真のゴルファーであることを自覚し、そのための努力をしてもらいたい。

2. 学生ゴルフ人口の増加を図り、開かれたスポーツをめざす。

ゴルフは金がかかるスポーツであるが、金がかかる限り、学生スポーツとしての発展はない。現在、我々はプレー代、練習費、道具代、税等あらゆる面で、高い費用を余儀なくされている。この費用を節減するための解決策を図ることは勿論のこと、競技

方式の変更(例えば、試合数を整理する。また時間と金のかかるマッチプレー方式をストロークプレー方式に変える)などの現在の諸制度を改革することにより、誰にでも出来る、費用のかからないスポーツをめざすべきである。

このためには、学連の努力がキーポイントになると思うが、有志の方々が積極的に学連委員として参加し、具体化することを期待したい。

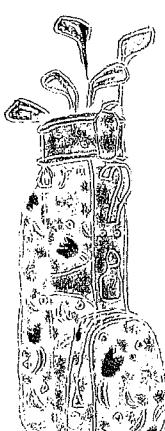
3. 学生ゴルフの国際化時代に備える。

日本の政治・経済を考えると、もはやすべての事柄が、日本だけのスケールで問題解決ができないまでに国際化されていることは衆知の事実である。学生ゴルフ界も、国際試合が年々多くなる中で世界の諸外国と対流できるよう、柔軟かつ速やかに体制を整えてはならない。

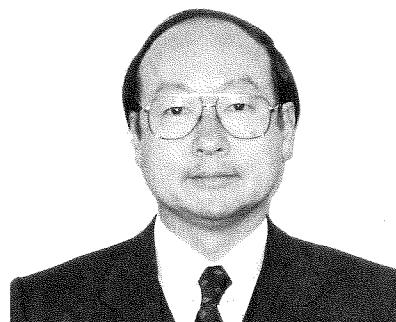
大学生たる諸君は、国際人にふさわしい語学力を身につけることは勿論のこと、国際的な見識と感覚を磨き、同時にプレイヤーとして、技術だけでなく国際的なマナーを身につけることが必要である。

それは、ゴルフを通じて眞の国際交流を図る基本である。また国内の試合方式も国際的に通用するものに変換すべき時期が来ていると思う。

君達が学生としてゴルフするのは、一生の中で、わずかな期間ではあるが、学生ゴルフを通じて体得する経験は、非常に価値あるものと思う。その経験を生かして、今後社会に出て、アマゴルファーとして、ゴルフ界のリーダーとして、また社会人として学生ゴルフ出身者ならではの持味を十分に發揮し、立派に活躍していただきたいと願っている。



「学生ゴルフの課題」

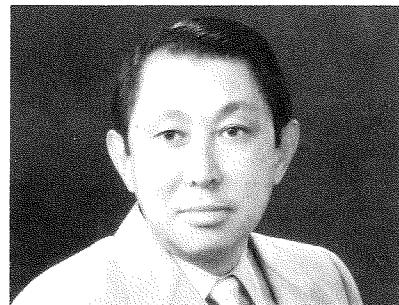


関東学生ゴルフ連盟理事
富田 浩安

第2次世界大戦というと、君達にとって遠い昔のことと思うが、戦後学生ゴルフが芽生えたのは、昭和25~6年のころで、関東学生ゴルフ連盟は、慶應、早稲田、立教、明治、学習院、上智(学連の名簿順)の参加校の代表者が集まり、昭和28年7月1日に創設された。

以来、日本経済の発展と共にゴルフ・ブームが起ころう中で、学生ゴルフも発展することになる。その発展の過程は、次回述べることとして、その特色を一言でいえば、学生ゴルフが「ゴルフ」を真のスポーツとしてとらえ、学生ゴルフ層の底辺を広げる役目を果した事であろう。それはまた同時に、学生ゴル

「会報発刊によせて」



(財)日本ゴルフ協会常任理事
中井 文治

民主化のうねりに大きく変貌する東欧諸国に象徴されるように、90年代は激動の時代であるといえましょう。国際化を迫られ、あらゆる分野で変革を求められている日本も例外ではありません。このように目まぐるしく変転する現代社会において、(財)日本ゴルフ協会 (JGA) は日本におけるアマチュアゴルフ界の最高機関として、ゴルフの健全な発達と普及を図り、国際親善に寄与すべくその責任の遂行に努力を続けております。

世界のゴルフ界の流れが転換期を迎えており、世界の多くの国におけるゴルフブームは、オリンピック競技種目となるなど、ますます拍車がかかることと思われます。

仕事を離れ、仲間や家族とスポーツを楽しみながら、健康と精神のリフレッシュができるのはゴルフ以外に見当たりません。老若男女を問わず、ゴルフ愛好家が増えるのは日本のみならず、世界の人々と同じ考え方をもっているとすれば、当然の傾向だと思います。

ゴルフの普及によるゴルファーの増加は、大変に結構なことですが、大衆化に伴うルールやマナーの乱れは、昨今とかく話題となっております。すべてのスポーツにルールがあり、特にレフリーのいないゴルフは、自己に厳しいルールとマナーが要求されるからです。

わが国の学生ゴルフ界の水準も年々向上し、ゴルフ界にも大きな影響をもち、重要な役割を果していることは、周知の事実です。しかしながら、次代を担う学生諸君のゴルフは、あくまで学生の本分をわきまえ、ゴルフ本来の正しい精神にのっとり、ます

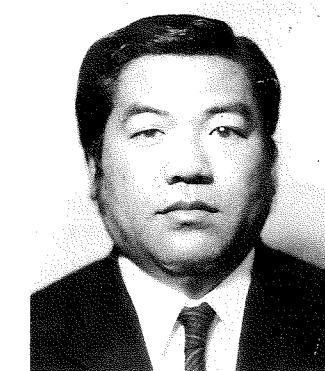
ます技術向上に努められることを切望します。また国際的にも、ゴルフの先進国といわれるアメリカと日本の技術的な格差が縮まったことは、昨年の日本大学ゴルフ選手権で、11年ぶりに日本チームが勝ち、それを立証してくれました。このように良きライバルとして充実した戦を繰り広げるとともに、友情と信頼を深める事が、国際親善の交流に役立っていると確信しています。

ゴルフには人生に通じる妙味があるといわれますが、ゴルフほどあらゆる点で、人生に似ているスポーツはありません。ゴルフのプレーは、山あり谷あり池あり…の連続です。それら一つひとつを、ある時は巧みに避け、ある時は果敢に乗り越えていくのです。そのためには、常に的確な状況判断をしていかなければなりません。まさに人生そのものではありませんか。

しかし、どんなに的確な状況判断をしても、思いどおりのショットを打ったつもりでも、うまくいかないのがゴルフです。さまざまなアクシデントやミスに泣かされ続けた結果、ゴルファーは常に後悔の念にとらわれます。あの時、こうしていたら…。あの時あんなことさえしなければ…と悔いが残るわけです。人生にも『たら・れば』はつきもの。ゴルフのラウンドが人生の縮図といわれるのも、こんなところに理由があるのではないでしょうか。

この度、関東学生ゴルフ連盟広報部で『KSGA会報』を発刊されることを、お喜び申し上げますとともに、ゴルフから学び得た学生時代の経験が今後の人生にプラスになることを期待してやみません。

「プレーヤーよりゴルファーたれ」



関東ゴルフ連盟 月刊・ジュニア育成委員
鳴田 憲人

は月例競技に10数名（女子も含む）、関東アマ予選は30数名と大幅に拡大されております。

KGAは加盟俱楽部の負担金で運営されており、その上部団体の日本ゴルフ協会 (JGA) も全国のゴルフ場の負担金で運営されているわけですが、学連はそれを負担することなく、逆に援助金を始め物心両面の指導・援助を受けています。これも学生ゴルファーがゴルフを通じて立派なスポーツマン・人間に成長する事を願ってのことです。このことを、よく知ってほしいと思います。

ルールはテキストから、そして経験を経て学びますが、マナー・エチケットは日々研鑽する伝統は共通のものにしてほしいものです。昨今マスメディアを通じてマナー・エチケットの低下が指摘されますが、スポーツマンとしての自覚を持ちも、先輩諸兄の一挙一動を思い出せば自ずとマナー・エチケットは啓蒙されます。大学4年間で良きプレーヤーでなく、良きゴルファーとなる努力を忘れないで戴きたい、それが母校の伝統となって形成されていくことでしょう。

私が在籍した昭和46～昭和49年（日本大学ゴルフ部）はオイルショックの前後であり、今日の様に競技会場（コース）確保が困難な時代でした。

しかしながら、選手・学連委員と連帯感は強く、リーグ戦コース確保の為に、そのコースで開催される日本プロゴルフ選手権の手伝いをした事も記憶しています。

今日の学生連盟は誰もが予測出来なかった程の大組織となりましたが、今日、連盟創立当初の意義が多少うすれてきていると感じています。その意味で加盟校・加盟員のコミュニケーションの手段として広報紙を持たれる事は素晴らしい事であり是非必要なものと考えます。

昭和47年に「スクランチ」の名称で一度だけ、この様な広報紙が発刊されました但今は是非継続してほしいと思います。

KGAとしては所属俱楽部を保有しない学生ゴルファーの為に、所属=学連として広く門戸を開放しています。

20数年前は月例競技に2～3名の枠しかなく、関東アマ予選もその程度と記憶しておりますが、現在

平成二年度

関東学生ゴルフ連盟役員紹介



1. 早川 賢 委員長（慶應義塾大学4年）
鈴木 太郎 常任委員（〃3年）
2. 高山 仁 副委員長・事業局長（早稲田大学4年）
岩谷勇一郎 常任委員（〃3年）
3. 春日 照貴 競技（立教大学4年）
山崎 泰志 常任委員（〃3年）
4. 金子 豊 副委員長（明治大学4年）
平野 善彦 常任委員（〃3年）
5. 山崎 保 副競技委員長（日本大学4年）
阿久津英司 連盟委員（〃3年）
6. 川崎 秀紀 会計（学習院大学4年）
山根 伸介 常任委員（〃3年）
7. 遠藤 将作 連盟委員（法政大学3年）
8. 中川 純 常任委員（成城大学3年）
9. 小暮 茂明 競技委員長（中央大学4年）
高橋 正晃 常任委員（〃3年）
10. 椎名 俊輔 副委員長（成蹊大学4年）
松井 剛 常任委員（〃3年）
11. 高本 守 事務局長（青山学院大学4年）
若林 享 常任委員（〃3年）
12. 平林 昌樹 連盟委員（上智大学3年）
13. 金子 隆幸 渉外局長（東洋大学4年）
津川 八龍 常任委員（〃3年）
14. 光岡 敬司 常任委員（武蔵大学3年）
15. 上田 直治 常任委員（東京大学3年）
16. 堀井 慎二 連盟委員（明治学院大学2年）
17. 越水 徹 連盟委員（武蔵工業大学3年）
18. 杉山 太志 連盟委員（東京農業大学3年）
19. 横山 栄一 連盟委員（神奈川大学3年）
20. 上村 晋平 常任委員（国学院大学3年）
21. 立白 光司 連盟委員（一橋大学〇年）
22. 野村 麻季 連盟委員（日本女子大学3年）
23. 金子 修 連盟委員（専修大学3年）
24. 中部 隆 連盟委員（玉川大学3年）
25. 三浦 彰 連盟委員（東京経済大学2年）
26. 鈴木 啓孝 連盟委員（工学院大学3年）
27. 白石 哲也 連盟委員（東海大学3年）
28. 内山 友恵 連盟委員（東京女学館短大2年）
29. 萩木 ユカ 常任委員（実践女子大学3年）
30. 田中 一彦 コース選定副委員長（駒沢大学4年）
島田 秀樹 常任委員（〃3年）
31. 山口 敦子 常任委員（フェリス女学院大学3年）
32. 安田 耕三 常任委員（亜細亜大学3年）
33. 宮川まもる 連盟委員（和光大学3年）

34. 田窪 謙一 副委員長・広報局長（獨協大学4年）
御田慶太郎 常任委員（〃3年）
35. 下鷹康一朗 連盟委員（明星大学3年）
36. 倉持 富江 連盟委員（跡見女子大学3年）
37. 下田 千鶴 連盟委員（白百合女子大学3年）
38. 富田宗一郎 連盟委員（立正大学3年）
39. 北村 裕子 常任委員（大妻女子大学3年）
40. 江崎 真理 連盟委員（共立女子大学3年）
41. 林 由香 連盟委員（聖心女子大学3年）
42. 金井 由道 連盟委員（東北学院大学2年）
43. 青山 茂生 常任委員（関東学院大学3年）
44. 小林 康俊 連盟委員（日本工業大学3年）
45. 竹中 勲 コース選定委員長・涉外次長（中央学院大学4年）
竹内 雄一 常任委員（〃3年）
46. 植木 正司 常任委員（湘南工科大学3年）
47. 山本 陽子 連盟委員（清泉女子大学3年）
48. 富永 浩輝 連盟委員（桜美林大学3年）
49. 鶴田 宗和 連盟委員（日本体育大学3年）
50. 多田 英明 連盟委員（大東文化大学2年）
51. 大野 順 常任委員（横浜商科大学3年）
52. 蓬沼 浩司 総務局長（東京国際大学4年）
鈴木 康浩 常任委員（〃3年）
53. 島田 康己 連盟委員（山脇学園短大2年）
54. 中ノ森 繁 連盟委員（国士館大学2年）
55. 石丸 靖幸 連盟委員（麗澤大学2年）
56. 塩谷 秀行 連盟委員（城西大学3年）
57. 村瀬 正純 連盟委員（横浜国立大学1年）
58. 田中 里佳 常任委員（昭和女子大学3年）
59. 金子 丈士 連盟委員（拓殖大学3年）
60. 武島 慶明 常任委員（創価大学3年）
61. 村山 大 連盟委員（筑波大学3年）
62. 伊藤 暢 常任委員（帝京大学3年）
63. 川村 雄一 連盟委員（高千穂商科大学3年）
64. 豊岡 宏明 連盟委員（千葉商科大学2年）
65. 神谷 幸利 連盟委員（新潟大学3年）
66. 宮入 得江 連盟委員（東京家政学院大学3年）
67. 柳沢 賢一 連盟委員（聖学院大学2年）
68. 高田 成明 連盟委員（千葉大学2年）
69. 池田 紋子 連盟委員（東京家政大学2年）
70. 佐々木慶太 連盟委員（東京都立大学2年）
71. 北野 美花 連盟委員（東洋英和女学院大学2年）
72. 神谷 幸利 連盟委員（新潟大学2年）
73. 江崎 篤 連盟委員（日本文化大学2年）



関東学生ゴルフ連盟関連スケジュール

4月14日～6月16日

4. 14 主将主務会議
4. 16 平成2年度関東学生ゴルフ連盟男子4月
月例会 ～東我孫子C. C～
4. 16 平成2年度関東学生ゴルフ連盟女子4月
月例会 ～ノーザン錦ヶ原C. C～
4. 19～22 ダンロップオープン ～茨城G. C～
4. 23 平成2年度関東ゴルフ連盟4月月例会
～総武・印旛～
4. 23 平成2年度関東大学対抗春季
A・Bブロックリーグ戦エントリー締切日
4. 25 平成2年度関東大学女子春季ブロック
入替戦エントリー締切日
4. 25～27 第7回テレビ東京杯争奪関東大学対抗
マッチプレー選手権 ～矢板C. C～
4. 27～29 ●レディス～ウイングフィールドG.C
～
5. 2 平成2年度関東大学対抗春季
C・Dブロックリーグ戦エントリー締切日
5. 2 第9回関東女子学生ゴルフマッチプレー
選手権予選会エントリー締切日
5. 7 平成2年度関東学生ゴルフ連盟男子女子
5月月例会エントリー締切日
5. 7～11 平成2年度関東大学対抗春季
Aブロックリーグ戦 ～棚倉田舎C～
平成2年度関東大学対抗春季
Bブロックリーグ戦 ～ユーハイG. C～
5. 9 平成2年度関東大学女子春季ブロック
入替戦 ～新千葉C. C～
5. 15 第39回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会
エントリー締切日
5. 16 第9回関東女子学生ゴルフマッチプレー
選手権予選会 ～那須小川G. C～
5. 16 第13回全日本女子大学ゴルフ対抗戦
エントリー締切日

5. 16～17 平成2年度関東大学対抗春季C・D
ブロックリーグ戦 ～矢板C. C～
5. 17 平成2年度関東大学対抗春季E・F・G
ブロックリーグ戦エントリー締切日
5. 19 主将主務会議
5. 21 平成2年度関東学生ゴルフ連盟男子5月
月例会 ～東我孫子C. C～
5. 21 平成2年度関東学生ゴルフ連盟女子5月
月例会 ～ノーザン錦ヶ原C. C～
5. 29 第39回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会
～の宮C. C～
5. 30～31 第13回全日本女子大学ゴルフ対抗戦
(中部地区)
5. 31～6. 1 平成2年度関東大学対抗春季E・
F・Gブロックリーグ戦 ～●月C. C～
5. 31～6. 3 日本プロシニア～下秋間C. C～
6. 4 平成2年度関東学生ゴルフ連盟男子女子
6月月例会エントリー締切日
6. 4 第27回全日本学生ゴルフリーグ戦
エントリー締切日
6. 6 平成2年度関東大学対抗春季ブロック
入替戦エントリー締切日
6. 8 平成2年度関東ゴルフ連盟6月月例会
エントリー締切日
6. 11～15 第9回関東女子学生ゴルフ
マッチプレー選手権 ～烏山城G. C～
6. 12 第39回関東学生ゴルフ選手権第2次予選会
エントリー締切日
6. 12 第28回関東女子学生ゴルフ選手権予選会
エントリー締切日
6. 15～17 ダンロップレディス ～富士C出島～
6. 16 主将主務会議

新規加盟校紹介

千葉県千葉市弥生町一―三三



我が部は、現在男子30名、女子10名で活動を行っています。部員も様々で、多種多様なキャラクターが集まっています。部内の雰囲気も良く、普段は和気藹々とやっていますが、今年から新たに学連に加盟したこともあり、みんな少々緊張ぎみです。でもやる気をもっているようなので、私としても安心しています。

学連に加盟したいきさつですが、そういう動きは3、4年前からありました。具体的に考えだしたのは2年前前からで、今回やっと加盟することができたというわけです。以前は、我が部は東日本学生ゴルフ同好会連盟(通称HGA)という団体に加盟しており、唯一の国立大体育会で異端児的存在でした。卒業した先輩はみんな「就職の時、体育会なのに同好会連盟に加盟していると説明するのがめんどうだ。」と言っています。まじめな話になりますが、我が部は創部してからやっと10年を過えたばかりで、まだ歴史も浅く、OB会もないといった状態です。これから部の発展や、後輩たちが安心してゴルフに打ち込める環境のことを考え、その土台を築いていこうというのが学連へ加盟した一番の理由です。それに伴い、OB会も発足するようですし、何といっても学内に専用練習場ができるので、みんな喜んでいます。

普段の活動ですが、今まででは自分の都合のよい日を週3日選び、学外の一般の練習場に行って打ち込みをしていました。しかし、この春には学内に練習場もできるので、今までとは違った練習方法なども取り入れようと思っています。それと、今年の卒業生がビデオを卒業記念として残してくれたので、それを使ってスイングチェックなどもやるつもりで

す。普段の練習に全体のメニューはありませんが、それぞれの部員が自分で目標をたてたりして練習を行っています。中には自分の体重(たぶん100キロ以上)を切ることを目標にしている人もいて様々です。その他には、春には新勧合宿(ただ飲みに行くだけ)、夏と春に全体合宿を行っており、また夏には男子部員の中から、普段のラウンドなどから選抜して、レギュラー合宿というのもやっています。レギュラー合宿では初日にストロークプレーをやり、2日目にはダブルスとシングルのマッチプレーをやって、試合形式をとっているので、「こいつには負けたくない」というような相手にあたると、ついいついむきになって対外試合などよりも白熱します。その他の部内競技としては、夏に行なわれるクラブチャンピオンシップ、春のマッチプレー選手権があり、クラブチャンピオンシップは男子は2日間に分け、初日が予選で、2日目が男女の決勝を行なっています。また春のマッチプレーはリーグ戦選手をシードとして20名ほどで競っています。これはクラブチャンピオンシップとは違って男女の区別はなく、たとえ女子でも選考基準を満たせば出場でき、男子といっしょに同じティグランドからプレーします。今年ははじめて女子が一人出場できるというので20、みんな期待していたのですが、残念ながら直前にけがをしてしまい、出場できませんでした。学連では男子もさることながら、女子のレベルもそうとう高いと聞いていますので、こういう機会をもっと増やし、女子部員のレベルアップも計るつもりです。

また、我が部は今年から新たに加盟したので、はじめのうちはリーグ戦には出れないと聞いています。4年生の人たちは、もうリーグ戦に出れないまま卒業してしまうので少々がっかりしていますが、月例で、ある基準をクリアしていけば、すぐにGブロックに加盟申請ができるそうなので、専ら後輩の指導に力を入れています。今まで我々はHGAの雰囲気に慣れてきていたので、体育会の面とサークルの面を両方持っている感じだったのですが、これからは早く学連の雰囲気に慣れ、試合などでも周囲に

のまれないようにしなくてはと思います。それと今ではHGAで主に女子プロのトーナメントバイトに参加てきて、中には女子プロの専属キャディをやったり、プロと顔なじみという部員もいたのですが、これからは主に男子プロの方が主体だということで、みんな結構楽しみにしています。やはり男子部員は男子プロのファンが多いので、これから参考にすることも多く、いい刺激になるのではないかと思います。

最後ですが、今年から学連に新加盟し、また待望の学内練習場もでき、OB会も発足の動きがあると

いうことで、千葉大学ゴルフ部にとって今年はまさに改革躍進の年です。部員の中には不安に思っている者もいますが、ほとんどの部員がゴルフ部の発展を考え、やる気でいます。学連内の規則や雰囲気に早くなじみ、リーグ戦などにも出場できるようにしたいというのが現在の最大の目標です。これからも試合でも胸を借りるつもりでがんばり、また関東学連のこれから発展に千葉大学が少しでも役立てればと考えています。学連のみなさん、これからよろしくお願ひいたします。

技術向上の途上も当然ですが、いるという安心感は何ものにもかえられません。

今年度で2年目で後ハイが出来、やっと部としての形ができた感があります。

そこでの加盟は、部員の気持ちを締める良い材料となりました。

次に活動内容を紹介します。

大まかに言えば週3回の球打ち練習、週1回のミーティングと年2回（夏季、春季）の合宿です。

球打ち練習は、大学の近くのゴルフ練習場へ行き、低額にてそのゴルフ練習場と契約し、1日の最低ノルマを現在は200球とし、週1回のミーティングと言うのは、クラブとしての話し合いがないときは、レッスンビデオを観たりしています。

合宿はといいますと、1988年度の夏と春と、1989年度の夏までは、茨城県のサンライズカントリークラブというゴルフ場で、1989年度の春は矢板カントリークラブで行いました。

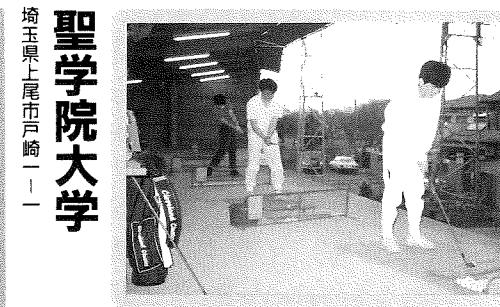
合宿内容はといいますと、1.5ラウンドと球打ち練習といったのが1日のメニューです。

茨城県のサンライズカントリークラブというゴルフ場は、乗用カート使用のゴルフ場で合宿としては、楽な感じでした。

それと正反対だったのが矢板での合宿でした。

他の大学は3~4校来てましたし、何といつても、キャディバックをセルフで持ちラウンドするというが、これが合宿なんだなと実感させてくれるものでした。

高校時代ゴルフ部でやっていた部員は経験があつたのである程度はセルフでかつぐことに抵抗はありませんでしたが、大学に入って初めての部員は大分こたえた様です。



聖学院大学と聞いて、知らない人が大半なのは当たり前です。当大学は以前より東京の駒込にある聖学院中学校、高等学校（女子も含む）の一貫教育の大手として女子聖学院短期大学と同じ場所に1988年度に確立された大学です。

ゴルフ部はと言いますと、聖学院高校のゴルフ部の連中がそのまま大学にきて創った部なのです。

ゴルフ部以外のクラブ、例えばアメリカンフットボール、バトミントン、サッカーなどもそのまま高校からあがってきた連中が中心になって組織されているので、創部1年目でも組織力はあり、早くから各部とも各連盟に加盟し、試合に出場しています。

そういう流れもあり、我がゴルフ部も連盟に加盟し、試合に出場しようと考えたわけです。

試合出場といった面では、高校時代に経験した部員が2人いるだけで、全く未知の世界と考えても大きな言い方ではないと思います。

大学創立1年の学生が何人か集まってやるわけですから、何をするのも初めてづくしで、加盟すると部内で決定するのも遅れ遅れで、加盟できたのもやっとと言った感覚です。

手さぐり状態ではじめたゴルフ部。何と言っても一番、大学ゴルフ部になかったもので痛かったのは、先パイ、OBの存在です。

それに加え、目土やクラブハウスでのあいさつなどマナーの面で戸惑っていた様で、目土をすることは合宿にならましたが、あいさつとなると今後も気を付けて行なわなければならない感がありました。以上が主な活動内容です。

試合出場が近くなるにつれて部内では、試合の事を含めたゴルフの話が多くなりました。

その話を聞いていると部で定期的に行なっている週3回の球打ち練習以外にも各自練習場には行っている様で、自分なりに加盟して試合に出場するという事に責任感をもっているみたいです。

それでもラウンドしてみると練習場での納得のいっていたショットが1発も出ないで、上ってみると大叩きをしているので、矢板での合宿では各自、今までの自行なってきた練習内容に疑問を抱いていました。

僕自身が合宿中に限り、当然自分も含めて部員をみていて感じた事は、基礎体力のなさです。矢板での合宿では1日に1.5ラウンド、日によっては2ラウンドできたのですが、合宿も後半に入ってくる

と、故障者が続出し、ラウンド練習を途中でやめる部員が出てしまう程でした。こういった点においても、今までの僕たちのゴルフ部は、球打ち練習だけを重視し、技術向上ということをゴルフクラブを握った時にだけ考えていたことを実感させられました。

上位にいる大学はトレーニングを中心に行い、その後球打ち練習となっていると聞きます。それなのに僕らがこの程度の練習を行っていても、もともと離れている実力の差は近づくわけがなく逆によけいに離れてしまいます。

今年、やっと連盟に加盟した以上、聖学院大学のゴルフ部の代表として試合に出場するわけですから、加盟校にふさわしいゴルフ部にしたいと思います。

聖学院大学学友会体育会ゴルフ部は3月の日刊杯から試合に出場します。

わからないことばかりなので皆様には何かと御迷惑をおかけすることもあるかもしれません、今後とも御指導の程、宜しくお願いします。

NEVADA BOB'S

世界最大のゴルフショップチェーン



全米を中心に250店舗ものゴルフショップを持つ世界最大のチェーン“ネバダ・ボブズ”。米本国部より直輸入の一流ブランドが、いつでもセール価格でいっぱいです。

店内に一歩入れば、そこはもう西海岸そのものです。

GOLF CLUBS	SPALDING
BEN HOGAN	WILSON
DUNLOP	TITLEIST
CLEVELAND	TAYLOR MADE
GOLDEN RAM	COBRA
GOLF DESIGN	TOMMY ARMOUR
MacGREGOR	LYNX
MIZUNO	YONEX
PING	BRIDGESTONE
POWER BILT	TOURPRIMA 他

学連証をご持参の方は、特別割引きをいたします。

渋谷店：渋谷区円山町28-1
カネト道玄坂ビル
☎ 03-770-7102

アルバイト募集中 お問合せ 03-770-7021 担当：田 中
銀座店：中央区銀座2-4-19
☎ 03-535-6776

町田店：相模原市上鶴間862-1
☎ 0427-45-4601



関東学生ゴルフ連盟のみなさんこんにちは、こちらは今年から学連に加盟することになった新潟大学学友会ゴルフ部です。関東学連広報局より、「“関東学連の新規加盟校ということで2000字程度で新潟大学ゴルフ部の紹介を書いてほしい。”」と言われましたが、活動内容や関東学連加盟のいきさつだけでは2000字に達しそうもないで、まず新潟大学のある新潟市について紹介してみたいと思います。

新潟市は、上野から上越新幹線で約2時間の所にあります。新潟というと、みなさんは“雪がたくさん降って寒いところ”というイメージを持っているかもしれません、大学のある新潟市五十嵐地区などは、海岸にもほど近く、佐渡の裏側にあるということもあって、雪はあまり降りません。ただ太平洋側に比べると晴れの日が少なく、風が強いため、ゴルフをするには決して良い所とは言えません。しかしこのような環境で私たち新潟大学ゴルフ部は練習しているので、悪条件下のゴルフはけっこう強いのではないかと思っています。夕日が佐渡に沈んでゆく日本海の眺めは、たいへん美しく、いつ見に行っても新鮮で飽きません。みなさんもぜひ一度は新潟へ遊びにいらして下さい。新潟で合宿するのも良いと思います。

新潟大学学友会ゴルフ部は1982年に同好会として活動を開始し、4年後の1986年にゴルフ部として認められ、今日に至っています。同好会発足当時は部員数も少なく、活動する場所もほとんどありませんでした。先輩方は練習の場を提供してもらうためにゴルフ練習場やゴルフ場に何度もお願いして、何とか使わせてもらえるようになったそうです。今でもこの練習の場を私たちが利用できるのは、歴代の先輩方々のおかげだと感謝しながら毎日練習に励んでいます。

現在、部員は新2年生から新4年生まで、男子17名、女子6名、計23名で、活動内容は、月、火、木

曜日がグランドでの体力トレーニングやアプローチ練習、水、金曜日がゴルフ練習場で打ち込み、土、日曜日はゴルフ場でキャディのアルバイトをした後にラウンドする。という内容で一週間活動しています。また早朝ラウンドをしたり、海岸が歩いて5分ほどのところにあるので、砂浜でバンカーショットの練習なども行なっています。また時々自分のスイングをビデオに撮って、フォームの研究などもしています。日頃は以上のような練習を行なっています。また年間を通しての大きな活動としては、春、夏に合宿があります。春の合宿というのは、毎年4月の初めに行なわれ、内容は早朝ラウンドをした後、ゴルフ練習場で打ち込むといったメニューを5日間行います。また夏の合宿はフォレストゴルフクラブで4泊5日行なわれ、1日2ラウンドを消化します。また個人が自主的に新潟で行なわれる大会（新潟県アマチュア選手権、N G A オープン、全日本パブリック選手権の予選）に積極的に参加しています。また毎年7月の終わりに行なわれるNST新潟オープンには部員全員がスタッフとして参加しています。キャディなどをしながらプロのプレイを見るることはたいへん参考になります。

新潟大学ゴルフ部の年間の活動は以上ですが、部員の中には、これだけではものたりず、やはり学連に加盟したいと思う人が出てきました。“学連に加盟しよう”という考えを持つ部員が出て来てから、学連に加盟することができた今年まで3年ぐらいかかりました。部員の中には“学連には参加したいが、遠征費などの費用のことを考えるとやはり無理ではないか”とか“今の状態で十分だ”という意見もあって、部員の意見が一致するには時間がかかりました。そして去年から、毎月関東学連宛に新潟大学ゴルフ部の活動状況を報告し、私たちの学連入りの意欲も認められ、ようやく関東学連に加盟することができました。関東学連に加盟している大学と一緒にラウンドすることによって、同世代の人々と競い合うことができたり、他大学との交流も広がるなど学連に加盟できたことは、新潟大学ゴルフ部にとって、革命的なことだと思います。

学連に加盟するという目標が達成できた今、次の目標は加盟しただけという形で終らないように月例会でよい成績をおさめ、1日も早く団体加盟をして他大学と団体戦で戦えるようになることです。その

ためにもこれからは他大学のゴルフを参考にして、技術面、精神面ともに、レベルの向上をはからなければならぬと思っています。

まだ加盟したばかりなので、わからないこともあります。

つたり、学連のみなさんにもいろいろ迷惑になることもあると思いますが、とにかく一生懸命やっていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



埼玉県越谷市に本校をもち、情報学部の新設にともない、神奈川県茅ヶ崎市に校舎が在る我ら文教大学ゴルフ部は創部4年目とまだその歴史は浅く、部員数も新4年生から部員数は10名と、決して多いとは言えません。更に部員のゴルフ歴もバラバラで、ほとんどの者が大学に入ってから始めたといった状態です。

ゴルフ部の創部にあたっては、今年、卒業なされる4年生の方々が入学され時、ゴルフに興味を持つ者が集まったのがきっかけとなりゴルフ部が作られました。最初の頃は、確立された練習方法もありませんでした。なにせ、ゴルフには興味はありましたが、ゴルフ経験がない者たちでしたから、そこで夏休みにゴルフ場で1カ月の合宿を張りゴルフのいろはからおそわり、ゴルフに対する知識、練習方法を確立し、ゴルフ部として活動できるまでに至りました。こうして1年、1年、少しづつではありますが練習内容も確立し、組織的にもまとまり、方向性も固まって、やっと体育会ゴルフ部にふさわしい状況となっていました。

我々の日頃の練習を紹介しますと、まだまだ1人1人のレベルの低い我が部では、上位リーグの学校の様に個人的な練習が主体というよりも、やはり団体的な練習活動が主体となっています。具体的な話をすれば、毎朝の早朝トレーニング、ゴルフ練習場での打ち放なし、ゴルフ場でのラウンドが主な練習内容です。

朝のトレーニングでは、部員全員が授業の前に学校に集合し3キロ程のマラソンコースを走り込むといったものです。これは体力面の向上といった事よりも精神面の鍛錬に重点を置いたものです、「成果

の程は？」と聞かれるとやや疑問ですが、それよりなにより、毎朝学校に集まる事の方が精神鍛錬になっているかもしれません。その後に学校の体育館で筋力トレーニングを行ない、ストレッチなどで体をほぐすといった様な事を行います。また、球打ちの練習は、幸いな事に練習場の協力を得て、ほとんど毎日の様に球を打つ事ができます。週に一度は決められた時間に集まって4年生と、まだ学連には加盟していない、文教大の女子ゴルフ部との合同練習なども行っています。ここでは日頃できないスイングチェックを人に見てもらったり、上級生から下級生へアドバイスをしてもらったり、うまい人の技術を盗む場となっています。

コースのラウンドにあたっては、顧問の先生の紹介で静岡県の三島スプリングスカントリークラブ、栃木県の紫塚カントリークラブ等のゴルフ場関係者の協力を得て、キャディの手伝いをしながら、空き時間に練習をさせていただいているといった状況であります。ゴルフ場での活動では、一般の方やゴルフ場の方に接する場でもあり、自分たちのラウンドにおいてもゴルフに対するマナー、ゴルファーとしてのマナーといった面で自分のスコアよりも、その未熟さを痛感させられています。

両コースとも職員用の宿泊施設があるので、週末や大学の休業期間などを利用し、合宿を行なっています。このような練習を日頃行なっていますが実際ゴルフの腕前の方はなかなか上達しないのが実状です。

さて、いよいよ関東学生連盟に加盟できたわけですが、当面の目標としては、早くリーグ戦に出場できる様にする事が目標であり、そのためにも今まで以上の練習を積まなくてはならないと思います。歴史と実力を誇る強豪大学の様に勝利の喜びは味わえないと思いますが、4年生がゴルフ部を誕生させ、3年生が学連加盟に力を注いだ様に、今度は我々が関東学生リーグへの第一歩を踏み込み、文教大学ゴルフ部の基盤をしっかりとつけていく様、がんばっていきたいと思っています。



はじめまして。東京家政学院大学です。私共の大学は校舎を千代田区の市ヶ谷から八王子へ移りまして5年になります。短期大学の家政科だけが市ヶ谷キャンパスに残っております。八王子キャンパスはまだまだ自然が多く、近くには津久井湖や高尾山があります。都会ではわかりづらい四季の移り変わりも、手に取るように感じられる大変すばらしい所です。よく晴れた日には、富士山も大きく見られます。

私共のゴルフ部は全員、八王子キャンパスに通う学生で構成されております。通学時間は近い人で自転車で5分、遠い人で2時間半と様々です。なにせ高尾山が近いものですから、通学電車の中で、登山靴をはいてリュックサックを背負って、今にも「ヤッホー」とさけび出してしまいそうなおじさんがいたり、遠足時期には、ワイワイピーピーにぎやかな小学生が、わらわらと電車に乗り込んできたり、ハイキング帰りのおばさんが、おやつの残りのおせんべいやみかんをおいしそうに食べていたりと、とても東京都内を走っている電車とは思えない光景にし



はじめまして、まだ加盟してまもない東京家政大学体育会ゴルフ部です。

「東京家政大学」といっても知っている人よりもハテナと思う人の方が多いのではないでしょうか?そこで、まず初めに学校の紹介を少ししておきます。

しばしば出会います。そういう意味では、とても変化に富んだ通学電車であり、長い通学時間もあつという間に過ぎてしまいます。

私は、大変に練習設備に恵まれております。と言いますのは、打ち放し練習場とアプローチ練習場がキャンパス内にあり、手続きさえすれば、いつでも使用できるのです。打ち放し練習場は八打席で約百ヤードあります。アプローチ練習場は、グリーンが二つと、バンカーが三つあり、とても良い練習場です。ただ、ナイター設備がないことと、打席数が少ないとのこと、そして時々練習中に、ヘビやキジやイタチが遊びに来てしまうというのが難点です。ナイター設備がないため、日の短い冬場は、キャンパスの近くにある練習場へ行きます。月例会は、埼玉県や栃木県、千葉県などのゴルフ場で行っております。合宿は、春、夏、秋と3回、行っております。場所は、その年、その時によって異なりますがやはり関東近辺で行っております。合宿では、1ラウンドから2ラウンドし、夜はルールの勉強をします。女性ばかりですが、虫にさされても、足をくじいても、弱音をはく者は唯の1人もおりません。ガッツだけは、男性にも負けないので…?。ゴルフの技術の方は、まだ未熟ですが、皆、KSGAの加盟により練習にも熱が入っております。KSGAの名に恥じないように、ゴルフ技術の向上と、ゴルファーとしての心がまえやマナーを再点検し、がんばっていきたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

東京家政大学は、100年以上の古い伝統をもっていますが、名称が東京家政大学になったのは昭和24年で、昭和25年には短期大学部が併設され、昭和61年から文学部（狭山校舎）が開設され、現在のように2学部からなる大学となりました。

学校には古い伝統がありますが、私たちゴルフ部は、4年前に同好会として設立され、2年前にやっと部に昇格したばかりという、まだまだ歴史の浅いゴルフ部です。

部員は現在約40名近くいますが、校舎が板橋と狭山の2つに分かれているために全員がいつも一緒に練習することはできません。そのために普段の練習は、板橋校舎と狭山校舎はそれぞれに計画を立てて別々に行っています。そして月に1度は、顔合わせ

の意味も含めて狭山校舎で合同練習を行うことになっています。

板橋校舎では、短大生と家政学部の3・4年生が練習します。しかし、学校内では練習するための充分な場所がとれないために、学校の近くにあるゴルフの練習場に行ったりもします。

狭山校舎では、家政学部の1・2年生と文学部の1~4年生が練習しています。狭山校舎は板橋校舎とは異なって広々としたグラウンドがあるので、そのグラウンドを使って打ちっぱなしの練習をしたり、東京家政大学の自慢の1つであるグリーンを使ってのアプローチやパターそしてバンカーショットの練習をしています。そして、それらの練習のまとめとして、グラウンドとグリーンを使っての通称“狭山ラウンド”というものを行ったりします。

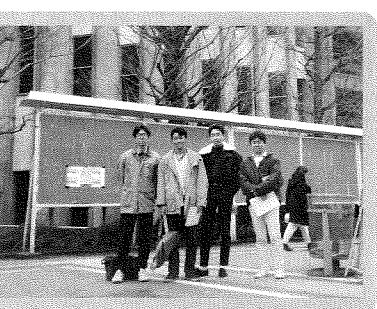
私たち東京家政大学体育会ゴルフ部の活動は、4月に新入生を勧誘することから始まります。それから夏休みまでは、夏合宿にむけての練習と、入部してきた新入生の指導を行います。夏休みは、狭山校舎での通い合宿、合宿前の直前練習を行い、ルールやマナーなども勉強してから、北志賀の竜王で本合宿を行います。合宿でラウンドするコースは、まる

でスキー場のような山あり谷ありというコースなので、体力が必要となります。夏休みが終わり、テストも終わり落ち着いた11月頃になると、“親子コンペ”というものを行います。これは、日頃お世話になっている先生方や父兄の方々と一緒にラウンドするというものです。たくさんの先生方や父兄の方々に参加していただけるように、なるべく先生方や父兄の方々の希望を聞き、都合のよい日になるように企画しています。冬休みには、4年生との最後のラウンドである“追い出しコンペ”に行きます。そして春休みには、新入部員を迎える準備も兼ねて、狭山校舎で通い合宿を行います。この通い合宿の最終日には、まとめとしてラウンドに行きます。

以上が東京家政大学体育会ゴルフ部の、1年間の主な活動内容です。

このような私たちが、関東学生ゴルフ連盟に加盟した理由は、試合などにより他校と交流をもつことができたり、目標ができると練習にもハリがでてくるのではないかということです。これからは、試合などを通じて、いろいろな刺激をうけながら、がんばっていきたいと思います。

これからよろしくお願いします。



この度関東学生ゴルフ連盟の仲間にありがたくも入れていただくことになりました。名前は東京都立大学です。よろしくお願いします。実を言いますと我部が都立大学ゴルフ部になったのは昨年の暮のことと、それまではいわゆる同好会として活動をしてまいりました。従ってずっと以前から連盟というメディアリーグに出ていきたいというほのかな憧れがあつたにもかかわらず、自分達は同好会であるという後めたさもあって影の世界で生きてまいりました。ところが昨年、ゴルフームのあたりを受けてでしょうか大量のルーキーを獲得いたしました。また彼らの中の何人かは技術的にもたいそうなもの

で、先輩達に自信を失わせるに充分な程でした。そういうわけで我々は、全体としてのレベルはまだまだ低いにも関わらず体育会への昇格と連盟への加入という二大決断を下したしだいあります。正直な話、我々には他校（しかも下位レベルの学校）とともに張りあっていけるだけの技量も自信もありませんが、それでもなお加盟した最大の要因は、いつまでも井戸の中にいるカエルではないと、やはり他校との競い合いの中でこそレベルの底上げができるのではないかと本当に真剣に考えたかどうか定かではありませんが、とりあえずがんばってみます。

都立大ゴルフ部は先程もお話ししました通り、まだできたてのほやはやのあつあつのふかふかですが、その前身となった同好会が結成されたのがだいたい7年くらい前です。都立大の全てのスポーツ系サークルあるいは部活動がそうであるように、ゴルフ同好会の活動もそれほど活発ではなかったようですが（もっともうちのダンス部は結構有名だったそうですが）。悲しむべきことには、学内での知名度も

この他低く、部室も与えられないようなさびしい状況がありました。これもゴルフというスポーツが持つお金がかかりそうだなあとのイメージが、多くの都立生を遠ざけていた考えれば無理からぬことでしょう。しかし時は移ろい我々はいまや正式に部として認可された体育会の一員です。都立大の移転とともに部室はもちろんのこと練習場からなんと特設の18ホールまでもらえるという話はさすがにありませんが、とにもかくにもいい気分です。それでは字数かせぎはいいかげんにいたしまして、現在の部の紹介に移らせていただきます。部員数はだいたい20名強で、その内訳は新4年生が6名3年生が3名で、残りは新2年生ということになっています。この中で着目すべきは新3年生が3名しかいない点で、新スタッフが人数的なハンデを克服して大転換期を向かえたゴルフ部を、本当に運営していくのかどうかに焦点が集まりそうです。もう一つの問題といたしましては女性部員が皆無であります。それらを獲得したい一方いざ入ってこられて我々に適切な指導が可能かどうか、そういう不安も確かにあります。その他には顧問の先生が2名おりまして、普段姿を現しませんが我々の精神的支柱であると信じています。練習場は学内に鳥カゴがあるわけですがそこはあまり使われず、もっぱら近くの打ち放しに通うことが多いです。といつても目黒区辺りの一等地ではボール代・場所代もばかにならず、そこは学生らしく肉体を代償にした閉店後のボール拾いによって代金を免除してもらっているわけで

す。以上が普段の練習ですが、その他にも人並みに合宿なるものをやったりするわけです。合宿とはいっても我部のそれは単に泊りだけでラウンドするだけのこと、他校ではきちんとした基礎体力作りである、ランニング・うさぎ飛び・ウェイトトレーニング・ヒンズースクワット・前まわり受け身などの荒業を行っていると聞くにつけても、我が部の軟弱さに涙するものです。我が部での最も禍々な試練といえば毎年夏に菅平カントリークラブで行なわれるキャディー合宿でしょう。禍々とはいってもそいらいじゅうのベンションに吊られている泥だらけのラガーシャツには比ぶべくありませんが、それでも朝から夕方までのキャディーやその他の肉体労働は結構大変で、みんなは日没前のわずかなゴルフと下山日に与えられるであろう給料を楽しみにしっかりと労働します。我々はこの合宿の最終日には一応のゴルフマナーを身に付け、実際にゴルフをやっている人たちがそれ程ほめられた人種でないことを知り、そして給料の多くが酒代として消えた事実に愕然としながら山を下りるわけです。

以上が我が部の大まかな活動内容で、来期からの新シーズンはもっともっと真剣にゴルフに取り組んでいかねばならないと痛感しております。いかせん部長である私がゴルフが不得手な部員には迷惑をかけるでしょうが、眞面目にやることだけは確かです。最後になりましたが私の個人的な希望としては、デボラ・マカフィーのような女性部員がはいってくればなあと思っています。

ば下級生もいよいよということで、一見自由でうらやましいと思われがちです。けれども、何においても手探りで自分達が進んでいかなければなりません。部の体制づくりはもちろん、日々の練習方法に至るまで、全て決定と実行をしていかなくてはなりません。無から有をつくり出すことの難しさを痛感する最近です。他大学の伝統ある部の皆様やその活動を知る度に、それをつくれた上級生と維持し続けている皆様に、尊敬の念さえ感じてしまいます。ゴルフの技術も何もない私達ですが、1期生であることをいかして、50年後には伝統と個性ある部となるよう、その基礎づくりに励みたいと思います。

現在は11人の部員を抱えていますが、全員が昨年6月の部発足時にクラブを握ったばかりの初心者で

す。ゴルフの技術やルールの把握等、まだまだ未熟な点でいっぱいです。けれども、やる気と態度でそれを少しでも埋められるよう努力していきたいと思います。

昨年は初年度ということで、多くの新しい経験をしました。

1口に部員11名といつても、個性・年齢・国籍と様々に異なる人間が集まっています。それがゴルフを通じてまとまりつつあることに、驚きとゴルフの素晴らしさを感じます。

そして1年間の練習を通して、やっとゴルフの楽しさや苦しさがわかりかけてきたところです。週3回の2時間の球打ちに、2回のトレーニングを通常活動としてきました。グリップの握り方も分からず、ゴルフバックをかついで歩くだけでも精一杯だったのはついこの間までのことです。それが練習の成果あってか、夏期に1回、春期に2回の合宿を行い、コースに出来るまでに成長しました。技術はまだまだですが、何とかクラブを球にあて、ゴルフバックを軽々と背おい走ることができるようになりました。

また、体育会として認められ唯一の部として大学側からも援助を得られ、新しく練習場を学内に設置

することになりました。これによって練習をもっと増やし、リーグ戦参加に向か努力していく予定です。そして技術だけでなく、ルールやマナーについてもコース経験を増やすことによって、完全な把握を目指していきたいです。

最後に、一番の良い経験として学連加盟を遂げることができたことをあげたいと思います。未熟な私達に、加盟の機会を与えて下さることにとても感謝しています。これによって、私達も他大学の皆様を見習い、ゴルフをスポーツとしてとらえることによって技術と精神の両面を鍛錬してゆきたいと思います。

昨年度は私達にとって、平成元年入学の東洋英和女学院大学1期生として連盟加盟を遂げさせて頂き、第1回の回報に載せて頂くという、「1」尽くしの幸せな年でした。今年度は部の一層の結束と、リーグ戦への参加を目指して、頑張っていきたいと思います。

ゴルフを始め、体育会や学連に関する知識など、全く不十分なことの多い私達ですが、一生懸命勉強していきます。

皆様に御指導頂けますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

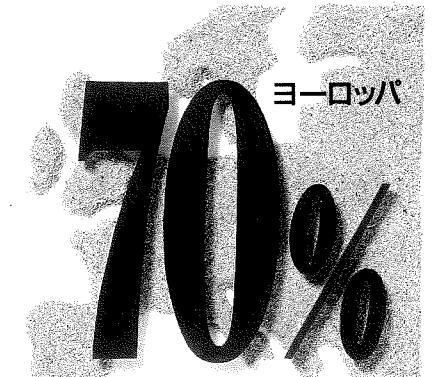
あなたもボールについて、 考えなおしてみませんか。

プロ使用率 (89マスターズ、全米プロ、全英オープン勝者使用球。)



上の数字は、'89U.S.PGA、ヨーロッパ両ツアーでのタイトリストボールの使用率です。タイトリストは、'49U.S.PGAツアーでNo.1を獲得して以来、今まで首位を守り続け、さらにカナダ、オーストラリア、アジアの世界中のツアーでもNo.1の支持を得ています。歴史に裏づけられた技術力と高品質への熱い信頼の証明と言えましょう。

「ボールを信頼してこそ、ショットやバットに集中できる…」。そう! 世界のトッププロが使用するボールと全く同じ「世界均一品質」が、あなたもショップで入手できるのです。そろそろボールについて考えなおしてみませんか?



世界均一品質
タイトリスト

Titleist®

*1 choice in golf.

日本タイトリスト株式会社
〒103 東京都中央区日本橋久松町11-6日本橋TSビル4F TEL.03-639-1615
大阪営業所 〒550 大阪市西区江戸堀1-25-22 TEL.06-441-9221



東洋英和女学院大学は、昨年新設された大学です。そして私達のゴルフ部も昨年6月に発足したばかりです。1期生というものは、上級生もいなけれ



多目的がトレンド ハイランドセンター

京王井ノ頭線浜田山駅より徒歩6分の閑静な住宅地に位置するハイランドセンターは、昭和39年に創設され、昭和62年秋には、多目的に利用できる総合ゴルフクラブとして新装オープンした。

当センターの目的は、生涯スポーツとして少しでも多くの人にゴルフの楽しさを知ってもらうといった、普及活動に力を注いでいる。そのために、利用客のニーズに合わせて、営業時間帯を早朝のトレンジングゴルフトイム、昼間のカルチャーグループ、スクールタイム、そして夜間のお勤め帰りの方のためのリフレッシュタイム、といった目的別に分けています。

クラブハウスをはさんでレフト・ライトと左右V字型に打席が離れており、1F 2F 合わせて4フロアに分かれているといった練習場の形態を利用してカルチャーグループや、学生の団体練習の場を提供している。

またセンターの中に東京ゴルフ学院を設けて、主婦の趣味のゴルフや、ジュニアゴルファーの育成を手がけている。特に小中高生といった、ジュニア達の利用者が多く、公立ではめずらしい杉並区立高井戸中学のゴルフ部や青山学院高等部ゴルフ部などが当センターで練習を重ねている。

ハイランドセンターの入口から道路を隔てた所には、ログハウス風のしゃれた受付のあるショートコースがある。土、日に料金2千円で一般の開放を行っているが、4月から経営母体はハイランドと同じである学校法人東京ゴルフ専門学校の専用練習場となる。しかし授業時間以外なら、一般的の利用も可能なので、是非一度利用して、アプローチショットやパッティングの強化をはかりたい。

その他の施設で、めずらしいのがイベントホールである。ここは相談に応じて、コンペやクリスマス



や忘年会などのパーティーに利用することができる。部活の練習がてら、ミーティングなどに使うのも良いだろう。

クラブハウスの2Fにあるレストラン“Twenty-one”はガラス張りの明るいレストランである。メニューも豊富で、アルバイト嬢のお薦めは安くボリュームのあるトゥエンティーワンサンド(500円)で、他にも、中華ちまき(300円) 煮めん(500円) 白玉(季節もの430円) おしるこ(季節480円)など、多彩なメニューがそろっている。

1Fにあるゴルフショップは、ウェアが充実しており、最近増え続けている女性ゴルファーのために、レディスウェアも多い。季節の変わり目には、ウェアの割引もあるので見のがせない。ゴルフクラブは定番人気のPRGRに力を入れている。クラブを買う際も、店員が親切にクラブ診断などの相談を受けてくれるので、このショップでより自分に合ったクラブを見つけるのもいいだろう。

ゴルフ練習場としてももちろん、その他の施設も充実している当センターなら、休日をすごすには最適である。

●入場料 ゴルファー保険含む 500円

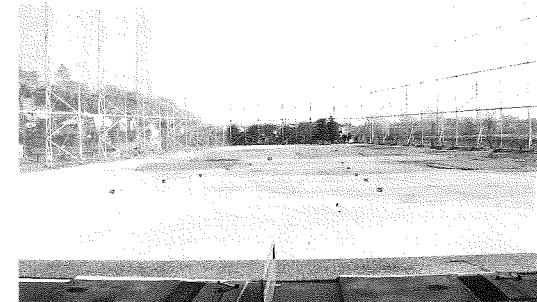
●ボール料 (1パンチ) 700円



静かな緑の中どこまでも飛ばして下さい 成城グリーンプラザ

ここ成城グリーンプラザの一番の魅力といえば、“広い” “都心” “緑が多い” ということ。打席は2階建てで100打席あり、広さは230メートルの打ちっ放しと豪快である。ゴルフ人口の増加により、練習場の利用者数も多いが、午後2時～5時頃が比較的すいているようだ。また、この練習場では、JGA公認のプロ4名とアシスタントプロ1名が、各ゴルフ教室や個人レッスンを開いている他、NHK・JCB・小田急の3団体でも、ゴルフ教室を開いているため、初心者から上級者まで幅広く活用することができる。

昭和48年6月に、サッポロ系列で創業されたこの練習場。当時と比べて変わったと思われる点について尋ねてみた。まずは、以前よりも飛距離が伸びてきているということ。これはクラブの質の向上や体格の変化に伴った結果で、4～5年前に正面のネットも5メートル長くしたそうだ。第2にスポーツとしてのゴルフから、レジャーとして楽しむゴルフになってきていて、最低限のマナーさえも守れなくなっているということ。女性や若者層のプレーヤーが増えることは良いことだが、それが集団になると、まわりに対する気配りが失われてしまうようだ。昔からスポーツとしてゴルフを続けている人のギャップが、そこから生じてしまうのだ。現在、学生ゴルフに対する世間の目は、一般にマナーが守られていない、と厳しいものである。大学のサークル等で、和気あいあいと楽しむのもよいが、やはりもっとスポーツをするためにゴルフをしてもらいたいというのが、練習場側の望みである。



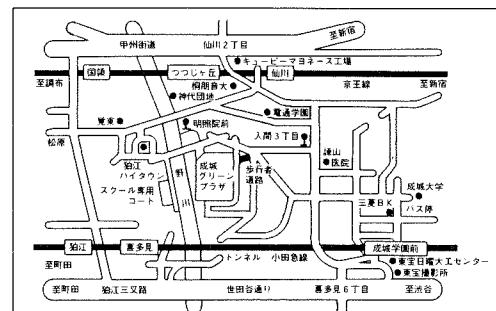
打放しの他には、パター練習場（人工芝）・バンカー練習、冬の間は池越えのアプローチ練習場も並設されているから、待時間も有効に過ごせる。この池越えの練習場、実はプールなので夏は別に楽しむこともできる。ゴルフ練習場以外にはテニスコート（メンバーズ・パブリック共）もあるので、是非スポーツを満喫してほしい。

クラブハウスを入ってすぐ左手にあるレストラン“ライオン”。ここももちろんサッポロ系で和洋食のメニューが並んでいる。茶そば(750円) ビーフシチュー(1000円) カキフライ(750円) スポーツマンカツレツ(800円)など。夏季はちょっと洒落て、ビアガーデンもオープンされる。また、駐車場は、220台収容可能とゆったりしているので、車で来ても大丈夫。

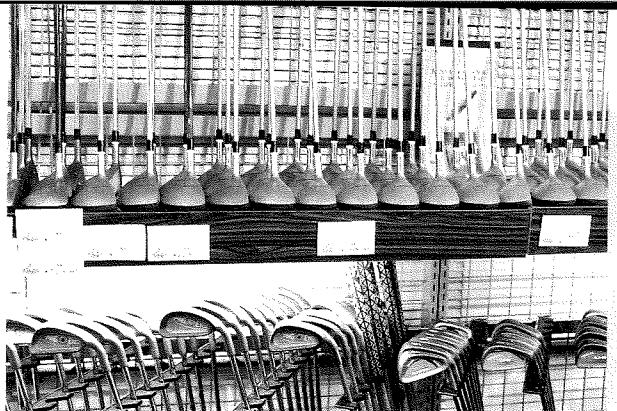
★営業時間

3月～12月
平日 午前9時～午後10時 土・日・祝 午前6時～午後10時
1月～2月
平日 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前7時～午後10時

☆料 金	平日	500円
施設使用料	平日	500円
	土・日・祝	600円
夜間照明料		100円
(施設使用料・夜間照明料は、入場時にお支払い下さい。)	平日	42球
ボール	1カゴ	1F…32球 600円 2F…36球
ボールカード		20カゴ 10,000円
貸クラブ		1本 210円
バッティンググリーン		1時間 310円
バンカー		14球 300円
アプローチ練習場		39球 300円
貸ロッカ―	A	1年間 10,300円
	B	15,450円



ゴルフショップ紹介 ゴルフブーマー



一度のぞいてみたい こんな店



文●広報局員 植木正司

私たち学生ゴルファーにとって、最も大きな障害となっているのは、高価なゴルフ用品である。ちなみに私の使用している例を挙げてみれば、クラブ・くつ・ウェア・軽量バック等で、約15万円程度になる。やはりこれぐらいの値段は最低でもかかってしまう。ところが昨年7月にオープンしたばかりのこの店“ゴルフ・ブーマー”には、輸入ものではあるが定価の半額ともいえるようなゴルフ用品が数多く店内に並べられている。安くなる理由としては、日本の流通組織のように複雑にいろいろな関税はつかずに、アメリカのメーカーから直接、並行輸入しているからである。

そして、その店内は、クラブが中心で、クラシッククラブやレディースクラブ、日本にはないクラブなどが数多く並べられており、見に行くだけでも大変満足できると思われる。そんなクラブ中心の店内には、ハーフセットというものがない。それは、社長の意図であり、ゴルフを始めてハーフセットを使っていると、すぐにフルセットを使いたくなることである。そんなゴルフショップなので買う人のことを考えてくれ、決して押しつけたりはしな

い。また店内には、キャディーバックなども豊富で、これからゴルフを始めたいけれどちゃんとしたキャディーバックを買おうとは思わない、という方にも、ペルディングという、ちょっとしゃれたものも用意してある。とにかく店の方はみな親切な方ばかりなので、相談にのってもらってから買ってみてはどうであろうか。

このお店は、人形町通りをちょっと入ったところにあり、駅でいえば、地下鉄線の人形町駅や小伝馬町駅の近くにあり、三越や高島屋などのデパートもそばにあるので、ショッピングついでにちょっと立ち寄ってみてもいいかもしれない。

この“ゴルフ・ブーマー”は、社長の嶋本さんがアメリカから帰ったおりに、日本のゴルフ用品の高さに疑問をもったことに始まり、母体の株島本の輸入ルートを使ってみてはどうかということで昨年7月にオープンした。そして、今度は大阪店の方もオープンするのでこれからますます伸びていく会社である。

最後に、社長以下みなさんが、学生からもうけることはいたしませんとおっしゃっていたので、相談によっては、価格が表示より下がることはもちろんのこと、他にボールやティーやボロシャツなど、何かしらの特典もつけていただけるかもしれないのにとにかく一度行ってみてはどうであろうか。

	メーカー希望価格	ブーマー価格
MIZUNO		
MS-7(8I)	160,000 約47%引	85,000
MS-8(8I)	〃 〃 〃	
MS-9(8I)	168,000 約42%引	98,000
Taylor Made		
ツアーゴールド(1W)	34,000 約19%引	27,800
ダイナミックゴールド(1W)	18,000 約18%引	14,800
Hogan		
エッジ(8I)	128,000 約31%引	89,000
Titleist		
ツアーモデル(8I)	128,000 約34%引	85,000
PING		
アイⅡステンレス(8I)	160,000 約55%引	89,000
今、注目商品		
MIZUNO		
MS-8(1W)	45,000 約56%引	19,800
(シルベックスグラファイト)		
MST(1W)	58,000 約64%引	19,800
(シルベックスグラファイト)		
などいろいろなクラブがあります。		
そして、会員証を見せると、さらに割引や、特点がつきます。		
例		
MS-7(8I), CLEVE CLASSIC, YAMAHA		
MS-25, TITLST ツアーモデルなどが		
さらに5%引+αの特点がつきます。		

GOLF BOOMER

1-10-9, Nihonbashi Horidome-cho,
Chuo-ku, TOKYO 103
TEL.03-664-3021 FAX.03-664-3022



KSGA意識調査

“学連はこんなボール・ドライバーを使用している”

あなたの使用球はなんですか？

日本杯予選(男子)、男子3月月例会 278名

1位	ダンロップ……141人……51%
	(Royal Maxfli 88, Super 432 23 Maxfli DDH 14, TOUR Special 9)
2位	ブリヂストン……85人……31%
	(BL-01 46, SL-01 16, TML50 12, ALTAS 5, J'sPRO Model 5)
3位	タイトリスト……33人……12%
	(384ツアーアー90 20 384ツアーアー100 13)

女子3月月例会 66名

1位	ダンロップ……30人……45%
	(TouR Special 12, RoyalMaxfli 6, DDH360 6 Maxfli DDH 3 Super 432 1)
2位	ブリヂストン……16人……24%
	(ALTAS 7, SL01 2, レイグランデ 2 TMS 1, TML 1 アルバ 1)
3位	トップフライ特…7人……11%
4位	横浜ゴム PRGR…4人…6 %
5位	タイトリスト…2人…3 %

女子春季Aブロック対抗戦 36名

1位	ブリヂストン……20人……56%
	(SL-01 11, レイグランデ 3 BL-01 2, TML 2 アルタス 2)
2位	ダンロップ……12人……33%
	(Royal Maxfli 4, Super 432 4 Tour Special 2 Maxfli DDH 1)
3位	タイトリスト……2人……6 %
	(384ツアーアー90 2)
3位	鎌田利産業……2人……6 %
	(キャスコ 2)

女子春季Bブロック対抗戦 34名

1位	ダンロップ……17人……47%
	(SUPER 432 6 ツアースペシャル 5 DDH 360 4 マックスフライ DDH 2)
2位	ブリヂストン…12名……33%
	(アルタス PRO 500 6 アルタス PRO 318 2 SL-01 2 アルバ 2 レイグランデ 2 TML 1)
3位	キャスコ……3人……8 %
4位	タイトリスト…2人…6 %
	(タイトリスト 1 ダブルス 1)

女子春季C-Dブロック対抗戦 64名

1位	ダンロップ……31人……48%
	(Tour Special 8, DDH 360 5, インターナショナル 5, Super 432 3)
2位	ブリヂストン……20人……31%
	(ALTAS7, SL-01 5, キャリード 2 TML 2)
3位	鎌田利産業……8人……13%
	(キャスコ 8)
4位	タイトリスト……5人……8 %
	(384ツアーアー90 3, ツアーダブルス 1)

女子春季 Eブロック対抗戦 40名

1位	ダンロップ……23人……58%
	(Maxfli DDH 10, DDH360 5, TouR Special 2 Black 540 2, Royal Maxfli 2)
2位	ブリヂストン……15人……38%
	(ALTAS 10, レイグラデ 2, REXTER 2 PRESEPT 1)
3位	鎌田利産業……2人……5 %
	(キャスコ 2)

あなたはどんなドライバーを使用していますか？

日刊杯予選(男子)男子3月月例会 278名

1位	ホンマ……58人……20%
	(ヒロホンマ 23, エキストラ90 20 M 47 3 , M 46 3, コレクト 1)

2位	Taylor Made……57人……20%
	(テラーメード 46, ツアーゴールド 9 バーナー Plus アルディラ 1)

3位	ミズノ……27人……10%
	(MS-1 10, MS-801 5 MS-8 5 PROORIGINAL 1 ダイナミック 1)

4位	マルマン……19人……7 %
	(コンダクター 10, G 716 3)

5位	マクレガー……17人……6 %
	(M 85 9, M 945 6, M 85-9 1)

6位	ブリヂストン……13人……5 %
	(レタスター 6, JS メタル 3 MTN II 1 イーグル 1)

7位	ダンロップ……7人……3 %
	(PROMODEL 2, DP 871 2, DP 778 1 DP-10 2)

その他	クリーブランド 8, Joe Powell 3, Ben Hogan 4, 沼沢雄二モデル 2, PRGRY-240 iM 40, オークスレイ, カワサキ Classic Edition, PowerBilt サイテーション ラム, ダイワ, SPALDING, 浜田エンタープライズトミーアーマー985J
-----	---

女子3月月例会 66名

1位	ホンマ……13人……20%
	(エキストラ90 8, ボロンRz)

2位	ミズノ……12人……18%
	(クラブチャンピオン 2, アルタワンド 2 チャンピオンブラック MF 2)

3位	マルマン……10人……15%
	(ギネスII 2, MST 1, ダンガン 1 キャスロン 1, コンダクター 1)

3位	横浜ゴム……10人……15%
	(P R G R 10)

5位	ダイワ……5人……8 %
	(キャッツアイ 2, アストロン 2)

6位	テーラーメイド…4人……6 %
	(テーラーメイド 4)

その他
の
他

ブリヂストン, パワービルト, ヨネックス

ベンセイヤーズ ヤマハ, ナサ,

ボブスキ,

女子春季A ブロック対抗戦……36名

1位	ホンマ…………8人……28%
	(M - 43 2 クラシックモデル 1) (M - 50 1)
2位	マルマン…………6人……21%
	(コンダクター 3 タンガン300 1)
3位	ミズノ…………5人……17%
	(MS - 10 2 岡本モデル 1)
4位	テーラーメイド…2人……7%
その他	プロギア、ダイワ、ピン、ENAなど

女子春季B ブロック対抗戦……30名

1位	ホンマ……9名…30%
	(EXTRA90, 4名 M - 43 1名) レディース90 1名 その他3名)
2位	クレインゴルフ……3名…10%
	エナ……3名
3位	テーラーメイド……2名
	マルマン……2名
	ヤマハ……2名
	ヨネックス……2名

女子春季C・D ブロック対抗戦 64名

1位	ミズノ…………12人……19%
	(チャンピオンフラッグ 5, MS - 10 1) 岡本綾子モデル 1 ミス1プロ WD 1)
2位	ホンマ…………10人……16%
	(エキストラ90 5, レイディース90 2) ヒロホンマ 2, ハイパワード M 43 1)
3位	テーラーメイド…6人……9 %
3位	マルマン……6人……9 %
	(ダンガン 4, ギネス 1, MST -21 1)
5位	横浜ゴム……6人……9 %
	(M -34 2 M -240 2 M -301, M -40 1)

その他	リンクス、マクレガーターニー、タイトリスト アシックス、スポルディング、パワービルト ヨネックス
-----	--

女子春季E ブロック対抗戦……40名

1位	ミズノ…………19人……48%
	(ミズノ 15, チャンピオンフラッグ 2) ミラ 2)
2位	マルマン……7人……18%
	(ダンガン 3 ギネス 3)
3位	マクレガー 3人 8 %
3位	テーラーメード 3人 8 %
5位	ホンマ 2人 5 %

VOICE

ボールに関して、男子は糸巻きボールの使用者が圧倒的であった。その中で、日本ダンロップ社の使用率は2つの競技会において半数に達している。女子は飛距離を追求してか、ツーピースボールの使用が多數いたこと。女子リーグ戦では、どのリーグに

も3位に鎌田利産業の「キャスコ」がランクされているのに目をみはった。

ドライバーに関しては、男女ともホンマ社のドライバーの使用率が高い。その他のところでは手造りのドライバーが多いことに気がつく。(津川)

小田美岐プロ直撃インタビュー

紀文レディースクラシック



Q、いつからゴルフを始めたのですか？

A、中学校の時に父の経営していた練習場で部活のかわりに始めました。

Q、プロになろうと思ったのはいつ頃ですか？

A、私の場合は遅くて……大学4年の夏頃かな。

Q、プロになって8年、学生時代と比較して今のゴルフはどうですか？

A、飛躍離は学生時代より少しのびているかも。でもアプローチとパターが背からあまり上手くないので、上手になりたいな。

Q、平均睡眠時間は？

A、8時間位はとらないと、体がもたないわ。

Q、ところでかなり日にあたることが多いと思うんですけど？

A、そうねえ、日焼け対策はしてあるわ。日焼け止めクリームやファンデーションをしっかりぬって夜は暇な時にパックをしてるわ。今はみんな自然化粧品を使っているみたい。

Q、趣味は？

A、音楽を聞きながらドライブをするのが趣味だけど、今のところはパソコンかな。とってもおもしろいの。

Q、結婚はどうなんですか？

A、相手もいて結婚しようと思った時期もあったけど……。ゴルフをやめてもいいなと思うようないい人が現われたら今すぐにでも結婚した

いな——。

Q、今後の目標は？

A、毎年何回も優勝できるようになりたいわ。そして女子プロをもっと華やかに出来るようにがんばりたいわ。

Q、最後に学生ゴルファーに一言お願いします。

A、そうねえ、ゴルフというと体育会のイメージはあるないけど、高いスポーツを安くできるから部活として一生懸命やってほしいなあ。学生としてマナーよくやることが大切で、大人の真似をする事はないと思う。後はジュニアあがりの子はゴルフづけになっているみたいだけど、プロになればいやでもゴルフをしなくてはならないから、もっと学生生活をエンジョイしてほしいわ。

どうもお忙しい中ありがとうございました。

試合結果 紀文レディースは最終日2位でスタート。

しかしパターの不調と強風の影響によりスコアーを崩してしまい4位という結果に終わりました。私個人としては応援していただけに非常に残念でした。しかし、明るく、やさしい人柄は、人を引きつける魅力があり、今後の活躍を期待せずにいられません。今後ともゴルフ界発展のためにぜひとも頑張ってほしいと思います。

1.競技会名称：平成2年度関東学生ゴルフ連盟男子3月月例会

2.主 催：関東学生ゴルフ連盟

3.期 日：平成2年3月23日

4.使用コース：東我孫子カントリークラブ(東中)

5.競技方法：1日18H ストロークプレイ

6.天 候：晴れ

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	順位	大学名	OUT	IN	TOTAL
1位	久保谷健一	明治	45	33	78	24位	光永 和弘	慶應	47	43	90
2位	宮川まもる	和光	45	36	79		鈴木 啓幸	工学院	46	44	90
	中山 篤至	東海	41	38	79	28位	小野 真吾	成蹊	46	45	91
4位	川見 洋史	早稲田	42	39	81		野村 剛	専修	45	46	91
	河原塚充英	拓殖	40	41	81		鈴木 康浩	東国	41	50	91
6位	笠井 有	新潟	39	43	82	31位	村橋 健一	横国	49	43	92
	卯木 栄一	拓殖	45	37	82		堀 恒彰	独協	44	48	92
8位	秋山 満	和光	40	43	83	33位	松本 勉	国学院	45	48	93
9位	三神 秀臣	慶應	40	44	84		岩井 徹	工学院	45	48	93
10位	亀井 高	日体	43	42	85		桜井 泰男	明治	46	47	93
11位	森本 興司	日体	42	44	86		川又孝太郎	東京	41	52	93
	鈴木 太郎	慶應	41	45	86	37位	村上 勇	大東文化	45	49	94
13位	宮田 士	拓殖	45	42	87		宮崎 普也	千商	45	49	94
	久永 高史	玉川	44	43	87		清水 勝一	立教	43	51	94
	犬飼 重昌	中央学院	41	46	87	40位	山田 裕樹	中学	47	48	95
16位	木村 滋利	成蹊	44	44	88		久保田泰生	東京	43	52	95
	古川 宏	立教	45	43	88		吉田 真吾	上智	44	51	95
	藤原 康裕	中央学院	42	46	88	43位	島田 秀樹	駒澤	43	53	96
19位	三浦 直之	明治	43	46	89		佐多 俊一	学習院	46	50	96
	金子 和彦	学習院	44	45	89		小野 晋一	学習院	47	49	96
	竹野 一穂	成蹊	46	43	89		瓜生 裕	上智	45	51	96
	小山 幹	専修	42	47	89		梅沢 真志	横商	48	48	96
	屋代 亮	文教	40	49	89		多田 英明	大東文化	45	51	96
24位	吉田 裕輔	早稲田	47	43	90		野呂田 峰	新潟	46	50	96
	尾山 剛久	独協	44	46	90	50位	山田 達史	東農	46	51	97

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
50位	宮島 輝喜	獨協	52	45	97	73位	鈴木 貴純	日体	,	,	,
52位	増田 幸弘	東国	50	48	98		斎藤 和博	国学院	,	,	,
	栗原 啓一	駒澤	44	54	98	78位	松村 浩史	新潟	,	,	,
	柴田 裕正	和光	46	52	98		国重 淳二	国学院	,	,	,
	日比生賢一	文教	51	47	98	80位	大原 光貴	上智	,	,	,
56位	浦田 謙治	法政	45	54	99		篠田 賢一	大東文化	,	,	,
	本野 泰成	横国	44	55	99	82位	大曾根武房	文教	,	,	,
	大野 順	横商	47	52	99	83位	野矢 幸志	法政	,	,	,
	小林 秀忠	武藏	45	54	99	84位	沖浦 至一	聖学院	,	,	,
	平井裕一郎	法政	47	52	99	85位	高山 直之	神奈川	,	,	,
	百野 正剛	駒澤	51	48	99	86位	豊岡 宏明	千商	,	,	,
62位	家城 裕二	東京	45	55	100	87位	半那 隆	東海	,	,	,
	天野 強	武藏	48	52	100	88位	丸山 壮史	千商	,	,	,
	原 幹則	成城	49	51	100	失格	石田 隆泰	一橋	遅刻	,	,
65位	斎藤 正憲	早稲田	50	51	101		岸 勝弘	一橋	遅刻	,	,
	小林 一晴	成城	51	50	101		立白 光司	一橋	遅刻	,	,
67位	山口 和夫	玉川	47	55	102		田中 信哉	青学	遅刻	,	,
	青柳 竜太	東農	51	51	102		佐藤 元彦	青学	遅刻	,	,
69位	浦田 勇	横国	52	51	103		橋本 裕昭	青学	遅刻	,	,
	佐藤 正義	東農	51	52	103		(アテミス)				
	仲 正弘	成城	50	53	103		恩田 充啓	東海			
	坂東 宏章	立教	51	52	103		藤井 亮一	聖学院			
73位	斎藤 弘昭	神奈川									
	酒井健太郎	玉川					欠席	佐野 智宏	聖学院		
	光岡 敬司	武藏					棄権	川上 隆大	専修		

1.競技会名称：関東学生ゴルフ連盟女子3月月例会

2.主 催：関東学生ゴルフ連盟

3.期 日：平成2年3月23日

4.使用コース：ノーザンカントリークラブ錦が原ゴルフ場(なの花コース)

5.競 技 方 法：1Rストロークプレー

6.天 気：快晴

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1位	橋田 希也	成蹊	40	43	83	34位	森崎 薫	上智	49	52	101
2位	塚原 有理	慶應	41	44	85		市川 雅美	跡見	49	52	101
3位	関原芽久美	早大	40	46	86	36位	中島 典子	明治	54	48	102
	山田 千佳	法政	44	42	86		金本 麻里	家政学院	54	48	102
	名古屋幸子	早大	42	44	86	38位	野原 幹子	共立	54	49	103
	菱沼 奈津	青学	44	42	86	39位	西村 京実	獨協	55	50	105
7位	鈴木 陽子	聖心	44	43	87	40位	有泉麻衣子	日本女子	52	54	106
通過者	以上7名						入江 寿子	桜美林	55	51	106
8位	萩原 寛美	家政学院	46	43	89		田中 陽子	大妻	56	50	106
	松石今日子	玉川	47	42	89	43位	加藤千香子	日本女子	52	55	107
	野村 美苗	成城	45	44	89		吉野かおり	昭和	52	55	107
	松坂 華子	慶應	43	46	89		水野和佳子	東洋英和	56	51	107
	鈴木 智子	聖心	42	47	89		鎌田千恵理	跡見	54	53	107
13位	下田 良子	慶應	50	40	90	47位	坂本 香	青学	56	52	108
	村山 知子	立教	46	44	90		荒井 由紀	フェリス	48	60	108
15位	谷 美由紀	青学	43	48	91		根木島綾乃	獨協	53	55	108
	越智 美世	成蹊	43	48	91		岡田 朋子	昭和	53	55	108
	坂上祐紀子	成城	45	46	91	51位	林 由香	聖心	58	51	109
19位	原田 靖子	玉川	45	47	92		岩田亜紀子	家政学院	51	58	109
20位	十枝恵美子	上智	48	45	93		武部 美佐	上智	60	49	109
	菅沼 正代	昭和	48	45	93	54位	永島 路子	東京	58	52	110
	寺島三奈子	成城	50	43	93	55位	前田 友香	立教	57	55	112
	渡辺 華子	学習院	48	45	93	56位	飯島恵美子	大妻	54	59	113
24位	越智 純子	法政	45	49	94	57位	波岡美樹恵	東洋英和			
	佐生まりこ	共立	45	50	94	58位	森 長子	明治			
26位	磯 佳代	立教	46	49	95		竹林 三紀	東京家政			
	山崎美和子	玉川	48	47	95	60位	田中しおり	明治			
28位	倉持 富江	跡見	51	45	96		畠山 典子	東洋英和			
29位	真島千佳子	独協	47	50	97	62位	池田 紗子	東京家政			
30位	藤野 聖子	学習院	51	47	98	63位	林 多美枝	家政学院			
	柴田 真希	学習院	48	50	98	64位	古川 友里	フェリス			
32位	増沢 本見	成蹊	49	50	99	65位	朝見 尚子	桜美林			
33位	砂口由美子	早大	50	50	100	66位	浜丘ちはる	桜美林			

1.競技会名称：第16回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会

2.主 催：関東学生ゴルフ連盟

3.期 日：平成2年3月20日

4.使用コース：ユアアイゴルフクラブ(臥月コース・桜コース)

5.競 技 方 法：18HSストロークプレー

6.天 气：快晴

順位	氏名	大学名	桜	臥月	TOTAL	順位	氏名	大学名	桜	臥月	TOTAL
1位	加藤 淳	関東学院	38	37	75	29位	亀谷 長憲	日体大	42	40	82
	米倉 和良	日本	34	41	75		平井 公義	青山学院	41	41	82
3位	中部 隆	玉川	39	39	78		阿久津英司	日本	38	44	82
	船津 康史	国学院	41	37	78		宇根 紀之	早稲田	43	39	82
	三橋 隆明	日本	40	38	78		白石 亮二	法政	40	42	82
	清水 一浩	法政	40	38	78		戸澤 理希	専修	41	41	82
	中山 泰志	専修	39	39	78		稻永 佳久	中央学院	38	44	82
	桧山 敏行	日本	38	40	78		柴田 直人	東海	42	40	82
	大藪 高正	中央学院	37	41	78	40位	稻晋一	専修	42	41	83
10位	宮本 恵治	日本	41	38	79		八柳 一弘	日体大	42	41	83
	足立 智明	日本	37	42	79		山本 秀樹	中央学院	41	42	83
12位	伊藤 大師	専修	41	39	80		清水 勝	駒澤	40	43	83
	横田 真一	専修	40	40	80		高山 明博	大東文化	43	40	83
	喜田 和宏	日本	41	39	80		立花 和博	東海	39	44	83
	森 英城	慶應	39	41	80	47位	井野上研介	青山学院	40	43	84
	細内 巍	法政	40	40	80		小倉 雅人	日本	41	43	84
	柴原 佳彦	法政	44	36	80		橋本 裕昭	青山学院	42	42	84
	浅野 慶一	日本	42	38	80		野村 秀生	玉川	39	45	84
19位	川島 功	青山学院	38	43	81		秋山 博文	法政	40	44	84
	宮川まもる	和光	40	41	81		高本 球一	日本	41	43	84
	岡地 直紀	日本	40	41	81		高倉三千矢	日体大	40	44	84
	関根 勝彦	拓殖	39	42	81		田窪 謙一	独協	41	43	84
	高橋 史幸	立教	39	42	81		森 孝之	神奈川	44	40	84
	酒見 寛人	亜細亜	38	43	81		久保谷健一	明治	41	43	84
	野上 貴夫	日本	42	39	81		落合 裕	独協	43	41	84
	関野 保彦	明治	41	40	81		桜井 匡平	青山学院	42	42	84
	緑川 明利	明治	38	43	81		長谷川英樹	駒澤	45	39	84
	加藤 雅成	明治	41	40	81		篠田 英伸	中央学院	41	43	85
29位	迫中 幹生	日本	41	41	82	60位	三角 和之	神奈川	45	40	85
	鶴谷 純輔	武蔵	42	40	82		高橋 育	専修	45	40	85
	南本 修	法正	41	41	82		木村 浩行	中央	42	43	85

順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL	順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL
60位	宮下 恵	法政	42	43	85	87位	吉川 博康	立教	43	45	88
	土肥 幸児	慶應	42	43	85		鉢納 春紀	日本	42	46	88
	藤原 孝人	専修	41	44	85		白石 哲也	東海	43	45	88
66位	石本 保徳	専修	44	42	86		高橋 博樹	日本	41	47	88
	中嶋 茂樹	玉川	44	42	86		鈴木 正樹	明治	43	45	88
	関根 明	成蹊	44	42	86	99位	尾作 謙一	上智	48	41	89
	大野 敦弘	中央	46	40	86		加藤 一徳	早稲田	47	42	89
	竹野 一穂	成蹊	43	43	86		中山 篤至	東海	41	48	89
	大橋 和彦	専修	40	46	86		雁金 勇人	成蹊	44	45	89
	三神 秀臣	慶應	41	45	86		福沢 鎮州	獨協	44	45	89
	斎藤 賢治	横国	44	42	86		関口 敦人	拓殖	45	44	89
	森岡 繁幸	成城	43	43	86		波光 史成	慶應	45	44	89
	吉原 直樹	専修	47	39	86		白井 裕二	桜美林	44	45	89
76位	栗山 康司	玉川	45	42	87		川井 貴文	関東学院	46	43	89
	藤原 弘徳	東洋	44	43	87		花輪 直樹	駒澤	46	43	89
	岩見 英憲	千葉商科	43	44	87		戸島 義貴	日体大	47	42	89
	弓岡 哲哉	東京	42	45	87		松嶋 文孝	横国	41	48	89
	長沢 伸幸	明治	41	46	87		大牟田恭宏	駒澤	42	47	89
	田中 正弘	中央学院	45	42	87	112位	川田 謙司	立教	44	46	90
	犬井 潔	立教	44	43	87		野元 新吾	大東文化	45	45	90
	豊崎 智志	拓殖	45	42	87		村山 浩伸	立教	45	45	90
	井上 英樹	慶應	45	42	87		戸塚 秀孝	中央学院	44	46	90
	目崎 潤	横国	45	42	87		秋山 卓也	中央	46	44	90
	岡本 一昭	駒澤	44	43	87		宇佐見洋司	日体大	49	41	90
87位	宮本 優	東洋	42	46	88		野澤 邦央	成城	44	46	90
	三徳 隆司	上智	47	41	88		逸見 紀之	神奈川	47	43	90
	石橋 宗明	学習院	42	46	88	120位	田口 学	法政	44	47	91
	宮崎 高弘	東洋	42	46	88		木村 滋利	成蹊	49	42	91
	藤井 泰山	日本	45	43	88		平野 智之	東洋	47	44	91
	河野 敬幸	独協	43	45	88		長谷川耕市	明治学院	41	50	91
	藤井 亮一	聖学院	43	45	88		武居 大輔	成城	44	47	91

順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL	順位	氏名	大学名	桜	皐月	TOTAL
120位	西山 達也	明治	46	45	91	154位	嶋田 宗和	日体大	47	50	97
	益子 秀雄	拓殖	46	45	91		加藤 清和	学習院	46	51	97
127位	澤 靖	中央学院	45	47	92	158位	玉置 義徳	駒澤	49	49	98
	春日 照貴	立教	44	48	92		岡村 浩二	日体大	48	50	98
	藤本 泰孝	城西	45	47	92		西川 巍	法政	48	50	98
	川見 洋史	早稲田	47	45	92		都甲 貴久	東京	47	51	98
	岡村 和紀	駒澤	43	49	92		岡野 史	日体大	44	54	98
132位	國重 淳二	国学院	48	45	93	163位	小林 康之	中央	50	49	99
	久下 裕	青山学院	44	49	93	164位	野口 琢也	亞細亞	50	50	100
	石見 友彦	千葉商科	46	47	93		村上 智明	東海	52	48	100
	寺西 秀晴	東洋	43	50	93		藤井 基	東京	53	47	100
	佐藤 元彥	青山学院	46	47	93		坂本 晃一	拓殖	55	45	100
	加瀬 剛	獨協	43	50	93	168位	野矢 幸志	法政	49	52	101
	磯田 篤志	明治	48	45	93		高橋 慶	神奈川	47	54	101
	三橋 憲	東海	45	48	93		小田 康人	学習院	47	54	101
	橋爪 洋介	成城	48	45	93		中瀬 若明	明治	50	51	101
141位	保科 誠	中央	46	48	94		仮谷 俊幸	明治学院	52	49	101
	小笠原一好	拓殖	45	49	94	173位	中嶋 正晴	和光	46	56	102
	浅野 雅士	日体大	49	45	94		光永 和弘	慶應	51	51	102
	池田 土文	法政	51	43	94		隅田 城	慶應	50	52	102
145位	山本 拓司	青山学院	47	48	95	176位	森本 健司	成城	53	50	103
	橋本 一喜	桜美林	48	47	95		秋山 満	和光	48	55	103
	鈴木 太郎	慶應	50	45	95		小林 秀忠	武藏	51	52	103
	野内 尚美	法政	49	46	95	179位	山岸 優仁	亞細亞			
149位	松岡 大輔	慶應	49	47	96	180位	東山 雅一	聖学院			
	藤野 晃	東京	44	52	96		水野 智夫	大東文化			
	山本 雅人	早稲田	48	48	96	182位	佐山 宏	城西			
	池田 裕一	駒澤	52	44	96		棄権	木俣 公寿	日体大		
	平間 裕一	明治	50	46	96		浦田 謙治	法政			
154位	昼間 順二	法政	55	42	97	失格	大池 宏司	大東文化			
	佐々木 均	城西	51	46	97						

1.競技会名称：平成2年度関東大学女子春季Aブロック対抗戦

- 2.主 催：関東学生ゴルフ連盟
- 3.期 日：平成2年3月29日(木)～30日(金)
- 4.使用コース：矢板カントリークラブ
- 5.競技方法：1日27Hs2日間計54Hsストロークプレー
1校6名エントリー5名出場、上位4名のトータルスコアにより順位を決定
- 6.参 加 校：専修大学、日本体育大学、慶應義塾大学、聖心女子大学、成城大学
- 7.天 候：29日…雨天 30日…晴

順位	大学名	氏名	第1日					第2日					GRAND TOTAL		
			りんどう	あざみ	TOTAL	ききょう	TOTAL	りんどう	TOTAL	あざみ	TOTAL	GRAND TOTAL			
1	日本大学	丸谷 京子	41	43	84	40	124	44	43	87	40	127	498	502	
		須賀 みお	41	41	82	43	125	45	45	90	42	132※			
		土屋 陽子	46	39	85	44	129	41	47	88	43	131	1000		
		和智 多子						45	42	87	35	122			
		板垣真由美	43	38	81	39	120	40	43	83	39	122			
		元木佳代子	45	47	92	50	142※								
2	専修大学	文平 友恵	40	39	79	41	120	42	38	80	40	120	509	492	
		泰道都也子	45	45	90	42	132	38	50	88	40	128			
		北島 順子	41	40	81	42	123	41	38	79	39	118	1001		
		平松由季理	42	43	85	49	134	48	42	90	42	132※			
		大島 幸子	43	46	89	45	134※	42	41	83	43	126			
		村田 貴子													
3	日本体育大学	是久 尚美	42	43	85	47	132	44	44	88	44	132	534	513	
		宮田 聖子	47	44	91		失格※	47	43	90	47	137※			
		渡辺真理子	40	40	80	39	119	40	41	81	37	118	1047		
		小池 美紀						44	45	89	44	133			
		吉田 文恵	44	48	92	46	138	46	42	88	42	130			
		赤萩 令子	50	44	94	51	145								
4	成城大学	久保田京子	43	44	87	49	136	43	49	92	45	137	541	554	
		高橋 啓子	48	48	96	45	141	50	49	99	46	145※			
		鈴木真理子											1095		
		吉田 圭子	47	46	93	45	138	48	48	96	47	143			
		中村 桂子	44	44	88	47	135	46	47	93	42	135			
		宮脇 恵子	44	43	87	45	132	45	50	95	44	139			
5	慶應大学	奥山 永美	42	49	91	47	138	43	46	89	46	135	564	537	
		牧原 聖子	46	49	95	47	142	48	47	95	41	136			
		清水 喜子	47	44	91	52	143	44	40	84	44	128	1101		
		後藤祐加子	49	46	95	49	144※								
		雨宮 三礼	47	43	90	51	141	46	44	90	48	138			
		安 晴代						51	49	100	45	145※			
6	聖心女子大学	石上 温子	46	45	91	48	139	45	39	84	44	128	545	556	
		本間弓美子	43	41	84	46	130	46	46	92	46	138			
		和田 安代	48	48	96	45	141	50	47	97	50	147	1101		
		増本久美子						51	50	101	55	156※			
		城川原弘子	43	46	89	46	135	47	49	96	47	143			
		鈴木 智子	53	51	104	50	154※								

1.競技会名称：平成2年度関東大学女子春季Bブロック対抗戦

- 2.主 催：関東学生ゴルフ連盟
- 3.期 日：平成2年3月29日(木)～30日(金)
- 4.使用コース：矢板カントリークラブ
- 5.競技方法：1日27Hs2日間計54Hsストロークプレー
1校5名エントリー4名出場、上位3名のトータルスコアにより順位を決定
- 6.参 加 校：法政大学、早稲田大学、玉川大学、立教大学、学習院大学、成蹊大学
- 7.天 候：29日…雨 30日…晴

順位	大学名	氏名	第1日					第2日					GRAND TOTAL		
			りんどう	あざみ	TOTAL	ききょう	TOTAL	りんどう	TOTAL	あざみ	TOTAL	GRAND TOTAL			
1	玉川大学	嶋田 裕子	48	47	95	45	140	44	46	90	49	139	410	415	
		本多 中子													
		市野 綾	43	46	89	44	133	48	47	95	44	139			
		松石今日子	51	44	95	42	137	45	45	90	47	137			
		藤原えみ	46	48	94	48	142※	52	46	98	49	147※			
2	早稲田大学	前川 満里	45	45	90	50	140	47	47	94	50	144	428	433	
		坂田有理子	47	45	92	46	138	48	46	94	45	139			
		砂口由美子	55	49	104	46	150	49	53	102	51	153※			
		名古屋幸子	55	51	106	49	155※						861		
		関原芽久美													
3	成蹊大学	飴井和佳子	58	51	109	49	158※	52	47	99	50	149	432	438	
		松浦美香子	49	50	99	47	146	50	52	102	50	152			
		高橋朋子	50	45	95	47	142	48	53	101	52	153※			
		越智美世											870		
		柳田希世	52	43	95	49	144	48	43	91	46	137			
4	立教大学	小石 織江	47	49	96	53	149	52	48	100	44	144	456	436	
		伊藤智子	48	54	102	49	151	49	46	95	44	139			
		数野久代	54	48	102	55	157※	55	51	106	52	158※			
		岩崎啓子											892		
		高林容子	58	52	110	46	156	47	52	99	54	153			
5	法政大学	相模 麻子	52	57	109	50	159	52	47	99	54	153	453	448	
		山田千佳	40	45	85	41	126								

1.競技会名称：平成2年度関東大学女子春季Cブロック対抗戦

- 2.主催：関東学生ゴルフ連盟
- 3.期日：平成2年度3月29日(木)～3月30日(金)
- 4.使用コース：黒磯カントリークラブ
- 5.競技方法：1日27Hs、2日間合計54Hsストロークプレー、1校5名エントリー4名出場
上位3名のトータルスコアで決定。同スコアの場合4番目の選手により決定
- 6.参加校：日本女子大学、青山学院大学、上智大学、共立女子大学、実践女子大学、独協大学、駒沢大学、東海大学
- 7.天候：29日…雨 30日…晴

順位	大学名	氏名	第1日					第2日					GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	TOTAL	IN	OUT	TOTAL	IN	TOTAL		
1	青山学院大学	伊藤 忍	45	47	92	46	138	50	44	94	51	145	424	410
		飯泉ハルカ	49	56	105	47	152							
		板木 裕子						53	49	102	52	154※	834	
		福島沙和佳	47	46	93	41	134	45	43	88	45	133		
2	上智大学	林 久子			失格			47	43	90	47	137		
		井田 悅子	46	51	97	50	147	46	44	90	50	140	441	434
		渡利 由子	45	47	92	49	141	46	47	93	48	141		
		高橋 陽子	51	52	103	50	153	51	59	110	47	157※	875	
		畦田亜希子						51	50	101	52	153		
3	東海大学	藤本 智美			失格									
		井上香奈子	47	43	90	48	138	47	47	95	49	144	453	456
		中田 良美												
		飯田 薫子	54	56	110	52	162	52	52	105	50	155	909	
		野路 佳美	60	55	115	54	169※	56	56	112	54	166※		
		平田 三鈴	52	51	103	50	153	49	50	99	58	157		
4	共立女子大学	北川 歩	46	49	95	51	146	50	45	95	51	146	472	464
		木村 泰子						55	54	109	49	158		
		鈴木ひろみ	53	53	106	50	156	55	57	112	53	165※	936	
		米谷 美弥	62	57	119	51	170							
		長澤 順子			失格			51	53	104	56	160		
5	日本女子大学	松本真由美	50	51	101	54	155	50	50	100	48	148	476	461
		佐藤 友美			失格			55	54	109	54	163		
		中村 恵子	51	49	100	61	161	59	52	111	53	164※	937	
		荒井 英理	50	55	105	55	160	49	54	103	47	150		
		藤岡 順子												
6	獨協大学	小松 幸代	47	54	101	53	154	52	55	107	51	158	474	473
		徳永香代子	56	55	111	56	167	51	57	108	55	163		
		中田 幸子	48	54	102	51	153	48	52	100	52	152	947	
		福田 智子	51	63	114	54	168※	52	57	109	57	166※		
		宮代 雅代												
7	駒沢大学	畠 早苗	48	55	103	48	151	56	45	101	58	159	481	488
		小野 久美	52	55	107	49	156	54	51	105	54	159		
		荒木 孝子	61	59	120	62	182※	56	57	113	66	179※	969	
		村上奈央子	54	60	114	60	174	55	57	112	58	170		
		宍戸由布子												
8	実践女子大学	渡辺 直乃	57	66	123	57	180	54	55	109	51	160	487	491
		阿部由利江	50	49	99	48	147	49	50	99	49	148		
		茨木 ユカ	56	55	111	49	160	57	65	122	64	186	987	
		岡本 薫	66	64	130	75	205※	63	66	129	65	194※		
		岩本真理子												

1.競技会名称：平成2年度関東大学女子春季Cブロック対抗戦

- 2.主催：関東学生ゴルフ連盟
- 3.期日：平成2年度3月29日(木)～3月30日(金)
- 4.使用コース：黒磯カントリークラブ Par72
- 5.競技方法：1日27Hs、2日間合計54Hsストロークプレー、1校5名エントリー4名出場
上位3名のトータルスコアで決定。同スコアの場合4番目の選手のスコアで決定
- 6.参加校：東北学院大学、跡見学園大学、昭和女子大学、東京大学、大妻女子大学、明治学院大学、フェリス女学院大学、明治大学
- 7.天候：29日…雨 30日…晴

順位	大学名	氏名	第1日					第2日					GRAND TOTAL		
			IN	OUT	TOTAL	IN	OUT	TOTAL	IN	OUT	TOTAL	OUT			
1	大妻女子大学	山口 理絵											445	439	
		合田 佳世	46	51	97	46	143		43	46	89	48			
		前田可奈子	52	50	102	49	151		53	51	104	51	155※	884	
		中村寿美代	52	49	101	50	151		53	47	100	49	149		
2	昭和女子大学	北村 裕子	60	51	111	48	159※		53	49	102	51	153	449	456
		永嶋 智子	50	47	97	56	153		49	54	103	53	156		
		小林 若菜	50	52	102	52	154		53	51	104	50	154	905	
		大串 美帆	53	50	103	51	154※		51	47	98	48	146		
3	フエリス女学院	橋本 優子	50	46	96	46	142		51	54	105	53	158※	464	469
		菅沼 正代													
		大兼 立子	47	44	91	49	140		48	44	92	46	138	933	
		中尾 真紀	57	56	113	56	169		54	56	110	56	166		
4	東京大学	永田 康子													
		野中 裕恵	58	62	120	51	173(+2)※		57	56	113	59	172	473	484
		山口 敦子	50	47	97	58	155		46	66	112	53	165		
		沼田 直美	51	52	103	51	154		54	52	106	48	154	957	
		安東 知子	54	56	110	61	171		65	56	121	58	179		

1. 競技会名称：平成2年度関東大学女子春季Eブロック対抗戦

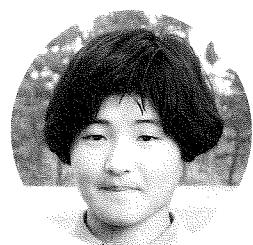
2. 主 催：関東学生ゴルフ連盟
 3. 期 日：平成2年3月29日(木)～30日(金)
 4. 使用コース：ダイヤグリーン倶楽部鉢田コース 6158Y Par72
 5. 競技方法：1日18Hs、2日間計36Hsストロークプレー
 1校5名エントリー4名出場、上位3名のトータルスコアによって順位を決定する。
 6. 参加校：桜美林大学、和光大学、白百合女子大学、武蔵大学、帝京大学、山脇学園短期大学、東京女学館短期大学、国学院大学
 7. 天候：29日…雨 30日…晴

順位	大学名	氏名	第 1 日				第 2 日				GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL			TOTAL		TOTAL	
1	国学院大学	衣川さわ子	49	58	107			52	46	98	
		藤木 優子	45	49	94			62	47	109	
		小林明日香						66	73	139	*
		高橋早苗	59	56	115			55	55	110	
		中山 美穂	59	74	133	*					
2	桜美林大学	小杉由里子	54	58	112	*		43	59	102	
		直井 佳美	55	54	109			57	54	111	
		永島あかね	56	55	111			61	55	116	*
		金丸 容子	58	51	109			51	47	98	
		浅水三佳子									
3	白百合女子大学	多々良浩美	55	53	108			51	52	103	
		落合 洋子	52	55	107			49	57	106	
		石坂佳世子						58	62	120	*
		瀬戸口恵理	68	61	129	*					
		寺田 麻美	53	57	110			54	52	106	
4	帝京大学	中村 容子	64	59	123			50	66	116	
		富田裕美子	54	56	110			55	51	106	
		清田 真美									
		清水裕美子	55	56	111			59	52	111	
		郭 朋美	64	64	128	*		62	59	121	*
5	武蔵大学	榊原偉企子	59	55	114			58	61	119	*
		新田 純子	63	61	124			58	56	114	
		羽生田優子	63	58	121			55	55	110	
		田村 祐子	62	64	126	*		60	58	118	
		寺原 純子									
6	和光大学	浅妻 尚子	58	54	112			49	48	97	
		道上 悅子	58	59	117			61	60	121	
		濱田 純子	65	72	137	*					
		良田 友美	67	63	130			66	67	133	
		宮崎 星乃						70	72	142	*
7	東京女学館短期	田村 佳子	79	85	164			67	77	144	*
		内山 友恵	71	69	140	*		61	63	124	
		駒井 野香	67	73	140			60	61	121	
		河田 都	65	67	132			65	57	122	
8	中央大学	大竹 美江	74	71	145	*		76	77	153	*
		藤瀬 裕子	65	77	142			66	64	130	
		宮山 香里	73	67	140			67	72	139	
		小田川弘子	61	66	127			61	72	133	
9	山脇学園(短期)	白石 弘美	70	66	136			72	68	140	
		大貫恵美子	75	69	144			66	69	135	
		河村 有紀	79	75	154	*		69	67	136	
		島田 康己	67	80	147			77	71	148	*
		斉藤千栄子									

総評

●関東女子A・Bブロック対抗戦

文●広報局員 山崎泰志



Aブロックメダリスト
渡辺真理子
日本体育大学
237ストローク

することによって慶應大学の5位が決定となりました。

大会初日は、前日の夜からの雨がひき続き降り、風もすこし吹くなかでのスタートとなりました。コンディションの悪いなかでのラウンドでしたので、初日のスコアは伸びなかったようです。けれども2日目は、初日とかわって好天に恵まれました。

Aブロックの優勝争いは、初日1位の日本大学と11打差の専修大学の戦いとなりました。2日目の1ラウンド終了時には、専修が14打差をつけて日大を逆転しましたので、最後のハーフでの目が離せない展開となりました。最終的には、最後のハーフを1アンダーでまわった和智選手のいる日本大学が、1打差で専修大学を下すという結果になりました。

またAブロックでは、更に2校、目の離せない戦いをした大学があります。慶應義塾大学と聖心女子大学です。初日、聖心女子大学に19打差をつけられて6位となった慶應大学は、2日目にはその差をゼロにまで挽回し、トータル1101ストロークで並びました。そのため、上位5名の選手のスコアまで採用



Aブロック優勝校 日本大学

玉川大学主将、嶋田裕子選手は、「日頃の練習の成果がでてよかった。選手がうまくかみあつたのが勝因でしょう。入れかえ戦には、挑戦者として1からやり直して臨みたい。」と話しています。

やはりA・Bブロックとともに、選手全員のまとまりが優勝という栄冠を勝ちとることにつながったのでしょうか。

メダリストは、両ブロックともに優勝校からは生まれませんでした。Aブロックは3位日本体育大学の渡辺真理子選手でした。初日は雨の中でたいへんだったそうですが、文平選手などがあまり伸びていない感じただけで、意識はしていなかったそう

す。個人戦よりもリーグ戦の方が楽にプレーできると話していましたが、それがよかったです。1年生のリーグ戦以来のメダリストということですが、これからも期待されます。

Bブロックは、5位法政大学の山田千佳選手でした。出場した5人が部員全員という厳しいチーム状況の中での受賞です。雨の中で無理はしない、それだけを気をつけて、普段ならウッドを使うところをアイアンをもったようです。それが初日の126ストロークとなったのでした。初日トップとなったことで、周囲の声が気になるなどのプレッシャーがあったそうです。2日目は、無理をしたために満足な成績ではなく、またメダリストの受賞も初めてだそうなので、受賞を知ったときの喜びは大きかったことでしょう。チーム全員の祝福が印象的でしたので、対抗戦におけるチーム全体の活躍も望まれます。

今回の対抗戦において、選手の皆さん是一打の重みを感じ、また選手全員で戦う対抗戦の本質を直すことができたのではないでしょうか。10月に開催



Bブロックメダリスト
山田千佳
法政大学
266ストローク

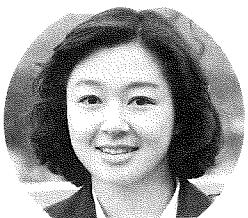


Bブロック優勝校 玉川大学

催される秋季対抗戦での、より一層緊迫した試合が楽しみです。

●関東大学女子C・Dブロック対抗戦

文●広報局員 御田慶太郎

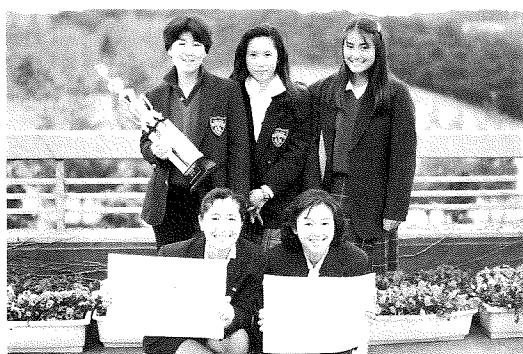


Cブロックメダリスト
福島沙和佳
青山学院大学
267ストローク

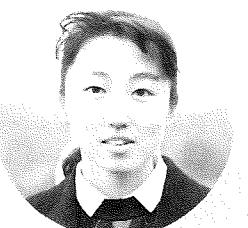
2位には上智大学が入ったが全体的にCブロックは力の差がはっきりしていた感があり、やや盛り上がりに欠けた戦いとなった。

一方Dブロックは、初日を終えて4打差で2位に昭和女子大学がつけ2日目は緊迫した戦いが予想された。しかし平均的な力をもつ大妻女子大学は他の追随を許さず、辛抱のゴルフで逃げ切った。4年生が一人もない勝利だけに今後の活躍が楽しみなところであろう。3位に入ったフェリス女学院もエース大兼立子（今回のDブロックメダリスト）が孤立奮闘したが及ばなかった。

今大会を振りかえり感じたことは全体的にC・Dブロックのレベルが低下しているということであ



Cブロック優勝校 青山学院大学



Dブロックメダリスト
大兼立子
フェリス女学院大学
278ストローク

る。体育会所属の学生ゴルファーである以上、その名に恥じることのない様今後の努力に期待したい。入替戦に出場する学校は、ブロック昇格、あるいは残留をかけて死力をつくして戦ってほしい。

●関東大学女子Eブロック対抗戦

文●広報局員 安田耕三

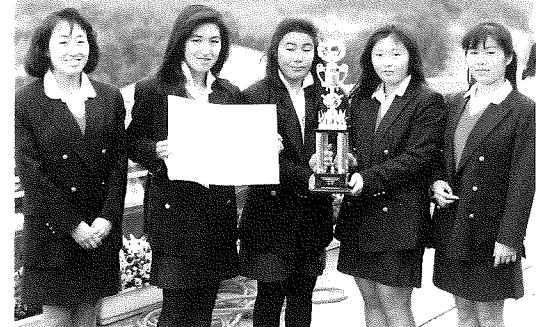
国学院大学、初出場、初優勝!!

本年度の女子春季Eブロック対抗戦は、3月29日(木)、30日(金)の両日に茨城県ダイヤグリーン倶楽部鉢田コースで行われ、国学院大学の初出場、初優勝。また2位3位が、※の差というドラマチックな結果で幕を閉じた。

初日はあいにく雨が降り、各選手ともショットがまわらず、スコアマイクに苦しんだ。そこで、国学院大学の藤木選手の94(45, 49)ストロークを筆頭に、各選手ががんばり、初日316ストロークとし、2位の白百合女子大学に9ストローク差でトップにたった。そして最終日は雨もやみ、絶好のコンディションで昨日よりも各選手のスコアアップが見られた。優勝競いの方も、国学院大学・白百合女子大学に加えて桜美林大学が台頭！この3校の激しい戦いとなった。この“トライアングル・バトル”を制したのは、国学院大学であった。2日目は3位の317ストロークながら、昨日の預金が役に立ち2位



Eブロック優勝校 国学院大学



Eブロック 優勝校 大妻女子大学



Eブロックメダリスト
藤木優子
国学院大学
203ストローク

に7ストローク差のグランド・トータル633ストロークで初出場初優勝という快挙を成しとげた。そして第2位は桜美林大学、第3位は白百合女子大学という結果に終ったのだが、この2位と3位はグランド・トータルが640ストロークでならんでしまったために、2日間の※の合計ストロークで競われ、桜美林大学が2位ということになったのである。その上、メダリストも、国学院大学、藤木優子選手の203(94, 109)ストロークとなった。 それではここで国学院大学、選手の声をどうぞ。「雨、風の中で自分のゴルフをし、スコアをまとめることができ、それが結果としてメダリストに結びついたことを大変うれしく思います。」～藤木選手～ 「リーグ加盟してリーグ戦に出ることが目標で、そのリーグ戦に出場し、初優勝することができても嬉しいと思っています。」～衣川選手～ 「先輩方のご指導のおかげで、ゴルフをはじめたばかりの私たちもリーグ戦に出てプレーすることができました。とってもうれしいです。」～中山選手～ 「1年生で試合に出られて、その上優勝までできて本当にうれしいです。」～高橋選手～ 「一日だけでしたが、一年生で試合に出られたことが、大変うれしかったです。自分のゴルフができなくて残念でしたが、入替

戦に向けて改めて練習してがんばりたいと思いま
す。」～小林選手～ そして選手全員が入替戦でD
ブロックにあがり、また連続入替戦出場をと闘志を
燃やしていた。

本大会を見て、上位と下位チームの差が、かなり
実力差が見られた。また白百合女子大学と桜美林大

学の選手の皆さん、一打という重みを痛感された
ことと思います。

そして今度の秋季には、各大学がトップ競いをす
るような、激しいデットヒートをくりひろげる大会
にしてほしい。

編集後記

K SGA会報 いよいよスタート

関東学生ゴルフ連盟
広報局長・副委員長
田窪謙一



「やっと終わった。そしてついに始まった」今の心
境を語ればこんなところでしょうか。

毎年、関東学生ゴルフ連盟にも会報を、との要望
が強かったわけですが、連盟委員が毎年変わっ
ていくという実情もあり、なかなか実現することが出来
ませんでした。しかし、昨年より我が連盟にも広報
局が出来、ようやくマスコミ等にも関東学生ゴルフ
連盟をアピールしてゆく機会がふえ、いよいよ本年
度は、より一層の飛躍をはかろうと一同、決意のも
と、この度K SGAの発行となった次第であります。

しかし我々広報局にとってはあまりにも未知の世
界のことで、ここまで道のりは長いものでした。

企画、立案から始まり、スポンサー廻り、原稿書き
そしてアンケートの集計等、忙しい毎日が続きました。
広報局員には、はかりしれない苦労があったこと
と思われます。彼らの頑張りには深く感謝をした
いと思います。と同時に当会報発行にあたりまして、
多大なるご助言、ご指導を頂きました関係者の方々、
また協賛を頂きました関係各社の皆様に厚く
御礼を申し上げたいと思います。

K S G A会報は二ヶ月に一回の割合で発行してい
きますが、発行にあたりましては我々広報局員だけ
でなく、皆様全員の協力が必要となって来ます。学
生の交流の場とする為にも皆様の情報や助言を期待
したいと思います。

学生ゴルフ界は今、大きく変わろうとしていま
す。今後のK S G A会報がその重要な役割を占め
ていくことはまちがいないと思われます。皆様に学生
ゴルフ界の現状を理解して頂けるような情報紙を目
指しひいてはK S G A発展につながる様頑張ってい
きたいと思います。ご声援のほどよろしくお願い申
し上げます。

開催コース 第26回月例杯争奪関東女子ゴルフ競技会
第28回会長杯争奪関東学生ゴルフ競技会



総武カントリークラブ 総武コース 東NO.1 Hole 506Yds. Par 5

Fine Quality Golf

プレー、メンテナンス、クラブライフ……。さまざま
なゴルフシーンに、クオリティの高さが求められ
ています。私たち総武都市開発は、30年にわたる
ゴルフ場経営を通して、質の高いコースの企画・
設計、徹底したメンテナンス、より充実したクラブ
ライフの運営など、あらゆるノウハウを学んでき
ました。いま、私たちのテーマはFine Quality
Golf。よりクオリティアップされたゴルフシーンの
ために、これまでの蓄積をフルに活かしていきます。

総武都市開発株式会社

〒101 東京都千代田区神田錦町3-13-7(名古路ビル)
TEL 03-292-5271(代表)

- 総武カントリークラブ・総武コース ●総武カントリー
クラブ・印旛コース ●総武カントリークラブ・北コース
- 中山カントリークラブ ●武蔵野ゴルフクラブ ●川越
カントリークラブ ●妙高カントリークラブ ●ソーブグアム
コース ●パインツリーゴルフクラブ ●スプリングフィル
ズゴルフクラブ ●アルパインカントリーゴルフクラブ



平成2年4月14日発行 No. 1

編集長 田窪 謙一

編 集 関東学生ゴルフ連盟広報局

発 行 関東学生ゴルフ連盟

東京都千代田区神田神保町2-2

神田ビル402

TEL. 03-263-4377

王者。マルマン コンダクター。

一打の妥協も許さない、
本格派のための
<コンダクター>。
いま、世界で、そして
日本のビックトーナメ
ントで活躍。

'90'89'89
全米オープン2位
サンマリーワールドマッチプレー2位
アメリカンエキスプレス地中海オープン優勝

'89
全米オープン優勝
'89
全日空オープン2位

優勝

優勝</p